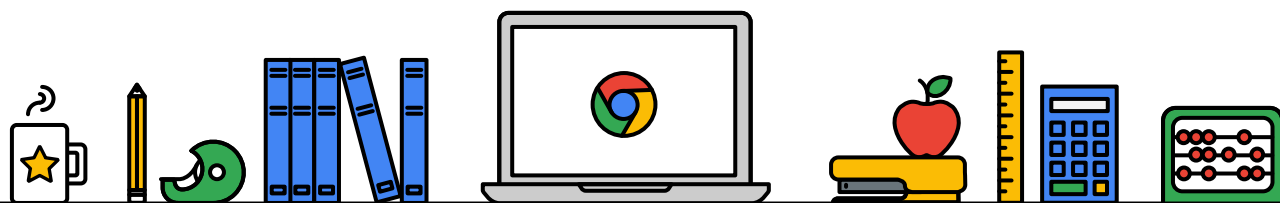


管理コンソール初期設定 ガイドブック



目次

1	はじめに	P4
2	管理コンソールでできること	P6
3	管理コンソールへのアクセス	P8
4	組織部門の設定	P10
5	Chromebook の登録	P20
6	ユーザー作成	P23
6-1	個別の作成	P27
6-2	一括作成	P30
6-3	作成したユーザー情報の変更	P35
7	ユーザーごとの設定	P41
7-1	G Suite for Education のアプリの利用設定	P45
7-2	Chrome ブラウザ利用時の設定	P53
8	端末の設定	P58
9	グループ作成	P64
9-1	個別の作成	P70
9-2	一括作成	P72

目次

10	管理者の役割の付与	P78
10-1	システムロールから役割を付与する	P82
10-2	カスタムで役割を作成する	P86
11	その他の設定	P91
11-1	ドメインのホワイトリスト登録	P93
11-2	2段階認証設定	P97
11-3	パスワード強度の設定	P101
12	トラブルシューティング	P104
13	FAQ	P107
14	Appendix	P109
14-1	参考:ユーザーとブラウザの設定項目一覧	P110
14-2	参考:端末の設定項目一覧	P123

🔍 はじめに | 

はじめに

- ✓ **1つのアカウントで G Suite for Education をご利用いただくことをおすすめします。**



G Suite for Education のご利用の際には、1つのドメインに全てのユーザーを作成し、学校、学年などは組織部門(後述)で分けて管理することを推奨します。こちらは、教育委員会所有のドメイン配下で組織や各学校を管理する場合に適しています。

マルチドメインといわれる1つのG Suite for Education で複数のドメインを利用する方法は、ドメインごとに組織や学校ごとのユーザーを分けて管理します。各学校の所有ドメインを教育委員会管理の G Suite for Education アカウントで利用する場合に適していますが、マルチドメインには制限事項がありますのであらかじめご確認ください。

なお、複数 G Suite for Education アカウント利用をすることは、管理が煩雑になるため推奨しません。

- ✓ **設定の反映には最大24時間かかる場合があります。**

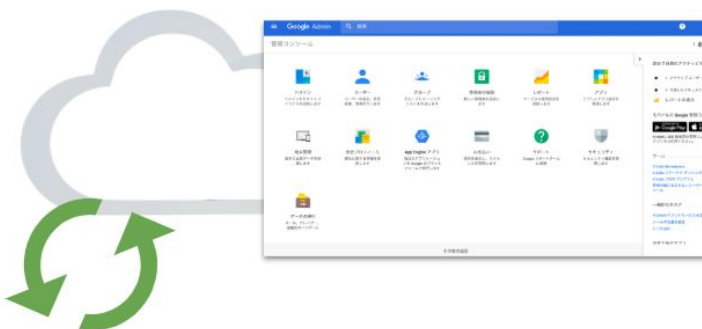
管理コンソール内の設定は基本的には即時反映されますが、なかには最大24時間を要する場合があります。24時間経っても反映されない場合は、サポート窓口(後述)にお問い合わせください。

 管理コンソールで
できること | 



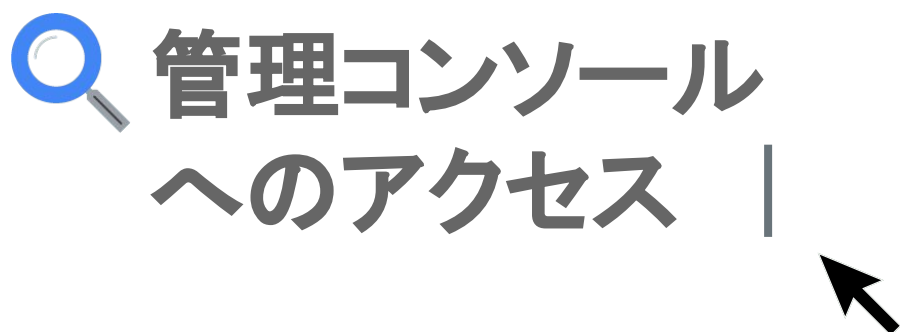
管理コンソールの概要

数千とあるICT環境を
オンラインで一括管理



- ✓ ユーザー・Chromebook にかかわるすべての設定がクラウド上から**一括・一元で適用可能**な管理画面

設定項目	内容
ユーザー	ユーザーの追加、削除等
グループ	メーリングリストの作成等
アプリ	G Suite の各アプリの有効化 / 無効化、詳細設定等
デバイス	ブラウザ、端末の詳細設定・管理等
管理者のロール	管理コンソール内の役割の権限の付与・作成等
ドメイン	ドメインの追加、ドメインのホワイトリスト登録等
セキュリティ	2段階認証やパスワードポリシーの設定等
レポート	G Suite の各アプリの利用状況の確認等

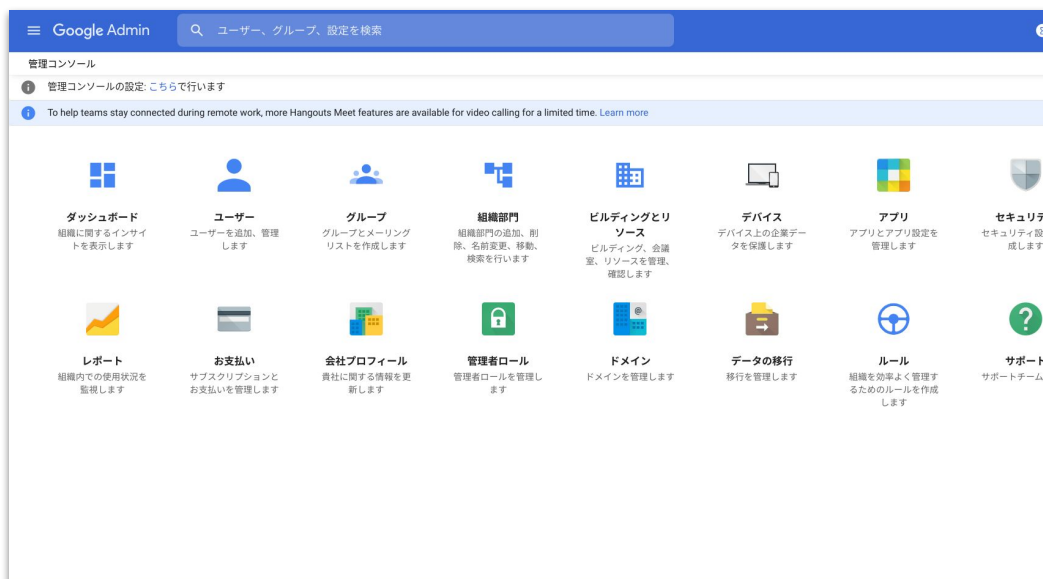


- 1 Google 検索画面の右上の ☰ をクリックし、管理コンソールのアプリを選択します。



※ URL (admin.google.com) を直接入力することもアクセス可能です。

- 2 セキュリティ上の観点から、管理コンソールへのアクセスは **一定時間ごとにログインが必要**となります。ログイン後、管理コンソールのダッシュボードへ遷移します。



 **組織部門の設定 |** 

初期設定の手順

Step 1 組織部門作成

Step 2 Chromebook の登録

Step 3 ユーザー作成

Step 4 ユーザーごとの設定

Step 5 端末の設定

Step 6 グループ作成

Step 7 管理者の役割の付与

Step 8 その他の設定

※ Step2, 3 は順不同です。

※ Step 6 ~ 8 は任意の項目になります。

初期設定の手順

Step 1 組織部門作成

Step 2 Chromebook の登録

Step 3 ユーザー作成

Step 4 ユーザーごとの設定

Step 5 端末の設定

Step 6 グループ作成

Step 7 管理者の役割の付与


Step 8 その他の設定

※ Step 6 ~ 8 は任意の項目になります。

組織部門について

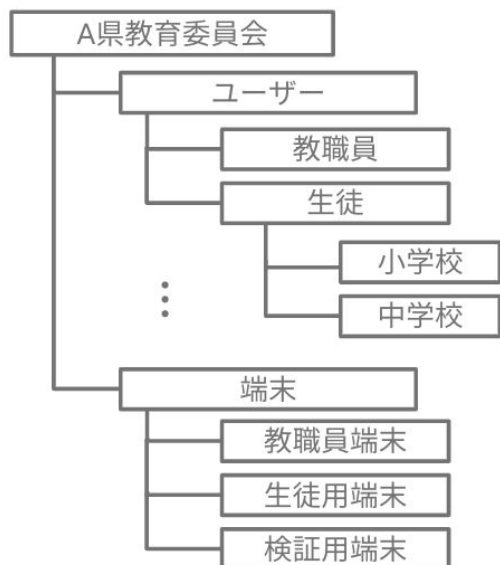
G Suite for Education では、**組織部門 (OU ※Organizational Unit)** を作ってユーザーを管理できます。OUは、あまり細かく作成しないことを推奨しています。



 ユーザーを“組織部門”というフォルダに入れて、フォルダ単位で設定を反映させます



組織部門作成の例①: 役割ごと

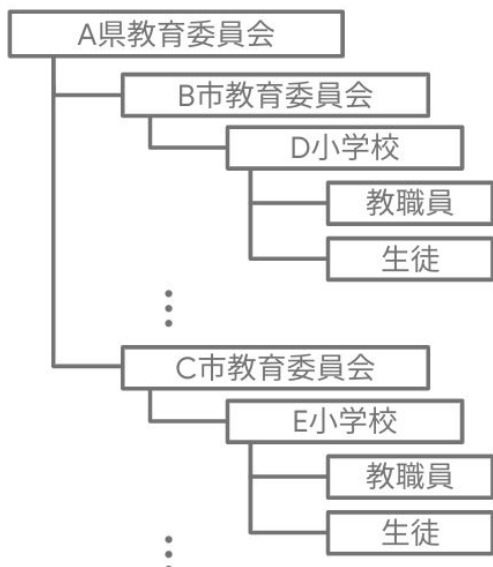


✓ 各市町村配下にユーザーと端末の役割ごとの組織部門を作成

✓ 教育委員会がICT管理を担当、市町村配下の学校で設定を統一する方法



組織部門作成の例②: 学校ごと



✓ 各市町村配下に学校やユーザーの組織部門を作成

✓ 学校ごとにICT管理者を任命、設定を任せる場合の方法



組織部門の継承の考え方

第1階層



第2階層

トップの組織部門で反映した設定は配下の組織部門すべてに継承されます



第3階層

下位の組織部門で反映した設定はその配下の組織部門にのみ継承されます



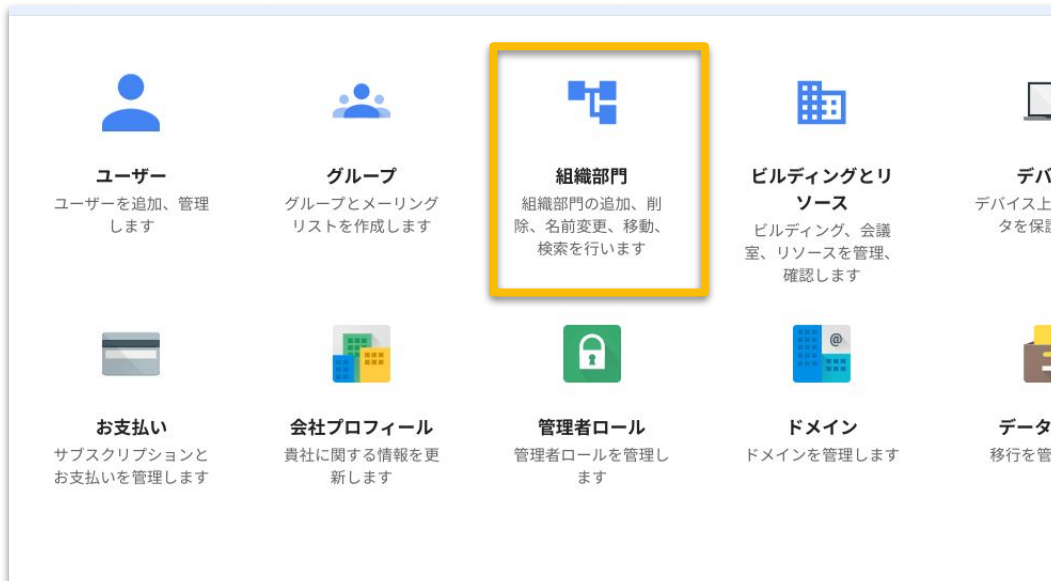
一番下位の組織部門の設定はその組織部門のみに反映されます



並列の組織部門同士の設定は反映されません



- 1 管理コンソールダッシュボードの「組織部門」をクリックします。



- 2 画面左上の  をクリックします。



- 3 「**組織部門の名称**」に組織部門名を入力します。
「親の組織部門」は変更せず、「作成」をクリックします。

新しい組織部門を作成

特定の機能や設定が必要なユーザーのために新しい組織部門を作成します。

組織部門の名前*
D市教育委員会

説明

親の組織部門*
gsfejp.com

キャンセル 作成

- 4 ドメイン名の下に組織部門が作成されていることを確認します。

組織部門を管理 | 19 個の組織部門を表示中

+

🔍 組織部門を検索

名前	説明
gsfejp.com	-
D市教育委員会	-

- 5 トップ以下の各階層にカーソルを合わせ、「+」をクリックすると、該当の階層の下に組織部門が作成できます。



- 6 別の組織部門の配下に移動させるときは、移動させたい組織部門にカーソルをあわせ、「📁」をクリックします。



- 7 移動させたい組織部門を選択し、「続行」をクリックすると選択した組織部門の配下に移動します。



- 8 組織部門名を変更したいときは、移動させたい組織部門にカーソルをあわせ、 をク をク します。



 Chromebook の登録 | 

初期設定の手順

Step 1 組織部門作成

Step 2 Chromebook の登録

Step 3 ユーザー作成

Step 4 ユーザーごとの設定

Step 5 端末の設定

Step 6 グループ作成

Step 7 管理者の役割の付与

※ Step 5 ~ 7 は任意の項目になります。


Step 8 その他の設定



Chromebook の登録は簡単



- ✓ Chromebook の登録は**1台あたり5分ほどで終了**。
- ✓ マスター作成など面倒な設定は一切不要です。

🔍 ユーザー作成 | 

初期設定の手順

Step 1 組織部門作成

Step 2 Chromebook の登録

Step 3 ユーザー作成

Step 4 ユーザーごとの設定

Step 5 端末の設定

Step 6 グループ作成

Step 7 管理者の役割の付与

※ Step 5 ~ 7 は任意の項目になります。

Step 8 その他の設定



必要な情報は4つ

- 1 名前（姓名）
- 2 メールアドレス
- 3 パスワード
- 4 組織部門



ユーザー作成方法は2つ

個別に登録する

新しいユーザーの追加

名前*

メインのメールアドレス* chromebook@.com

パスワード*

chromebook@.com

二次のメールアドレス

電話番号

一括で登録する (CSVデータ読み込み)

ユーザーの一括アップロード

パスワードや組織部門などのユーザー情報を入力して CSV ファイルをアップロードすると、ユーザーを追加、編集できます。**詳細**

注: 氏名、メールアドレス、パスワード、組織部門のパスは必須項目です。

CSVを送付

詳細方法がわからない場合

CSV ファイルをダウンロードしてから、ファイルを編集してアップロードしてください。

- 元の CSV テンプレートをダウンロードする
- ユーザーの情報は CSV ファイルをダウンロードできます

キャンセル アップロード

※ CSVによる一括登録では、最大150,000アカウントまで登録できます。



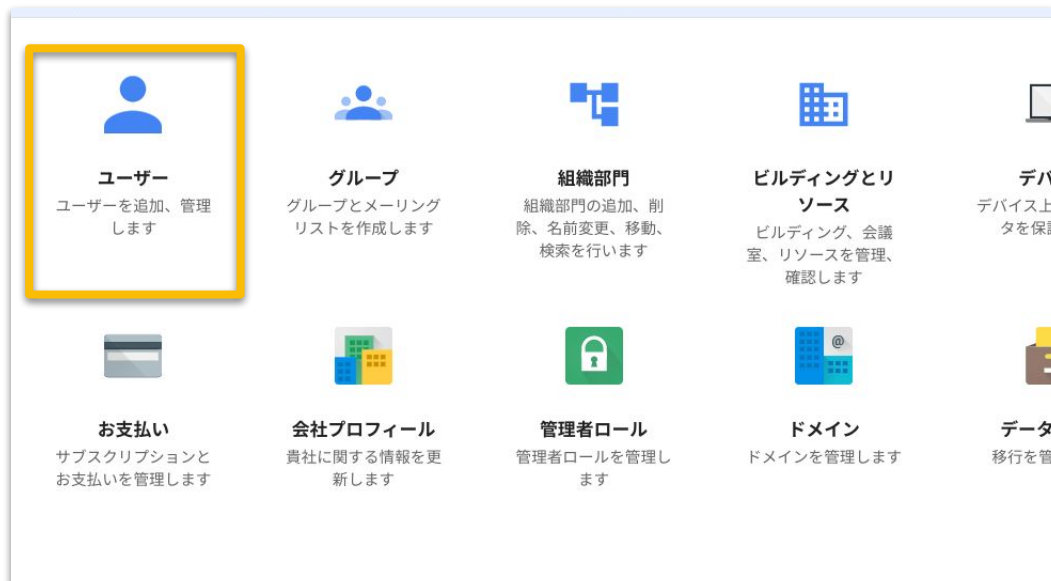
命名規則について

よくある命名規則	例	留意事項
名字 + 名前 (+ 番号)	yamada-taro@ yamada-taro-1@	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティポリシー上の個人情報の取り扱い 小学校低学年の英字入力 同姓同名の場合のルール決め
接頭文字 + 児童児童生徒ID (学籍番号など) + 乱数	児童児童生徒： s_12345678_1234@ 教師：t_87654321_4321@	<ul style="list-style-type: none"> 学籍番号や出席番号の変更有無
自治体コード + 学校コード + 入学年度 + 児童児童生徒ID	001-001-20-001@	<ul style="list-style-type: none"> 進学・転校の際、学校コードの変更有無 学籍番号や出席番号の変更有無
入学年度 + 固有の識別番号	20-00001@	<ul style="list-style-type: none"> すべての教員・児童児童児童生徒への固有の識別番号の発行の手間

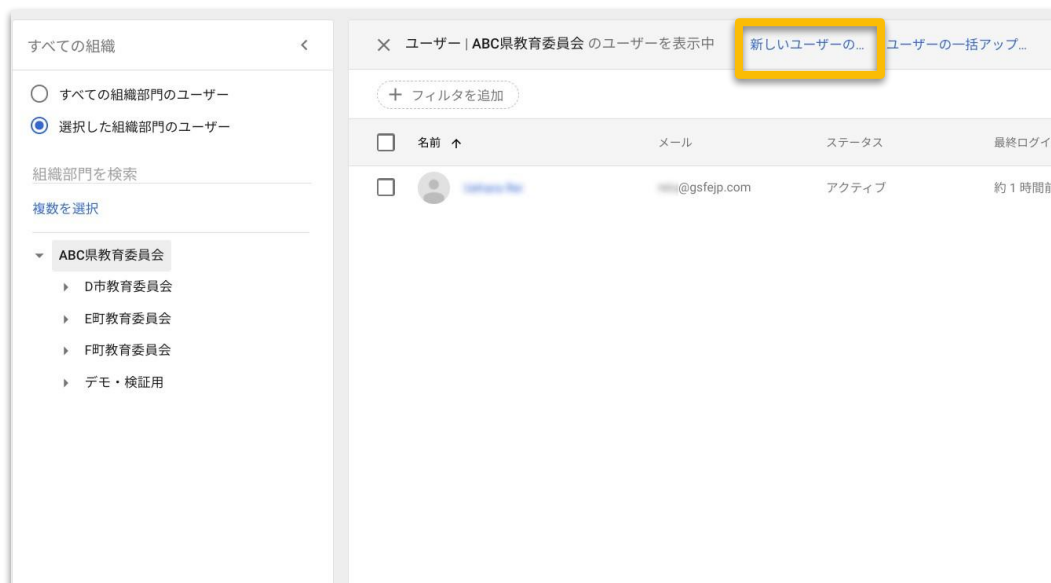


個別の作成

1 管理コンソールダッシュボードの「ユーザー」をクリックします。



2 個別に追加する場合は、「新しいユーザーの追加」をクリックします。



- 3 必須項目(姓・名、メールアドレス、組織部門)を入力または選択し、必要に応じてパスワードの設定をします。

新しいユーザーの追加



姓 *

名 *

メインのメールアドレス * @ gsfejp.com

組織部門*
ABC県教育委員会

予備のメールアドレス

電話番号

*は必須項目です

※1 パスワードを自動的に生成する

パスワード 
8文字以上で入力してください

※2 次回ログイン時にパスワードの変更を要求する

キャンセル 新しいユーザーの追加

※1「パスワードを自動的に生成をする」を有効にすると、ランダムなパスワードが生成されます。パスワードはメールで通知または印刷することができます。

※2「次回ログイン時にパスワードの変更を要求する」を有効にすると、該当ユーザーの初回ログイン時にパスワードの変更が必須になります。

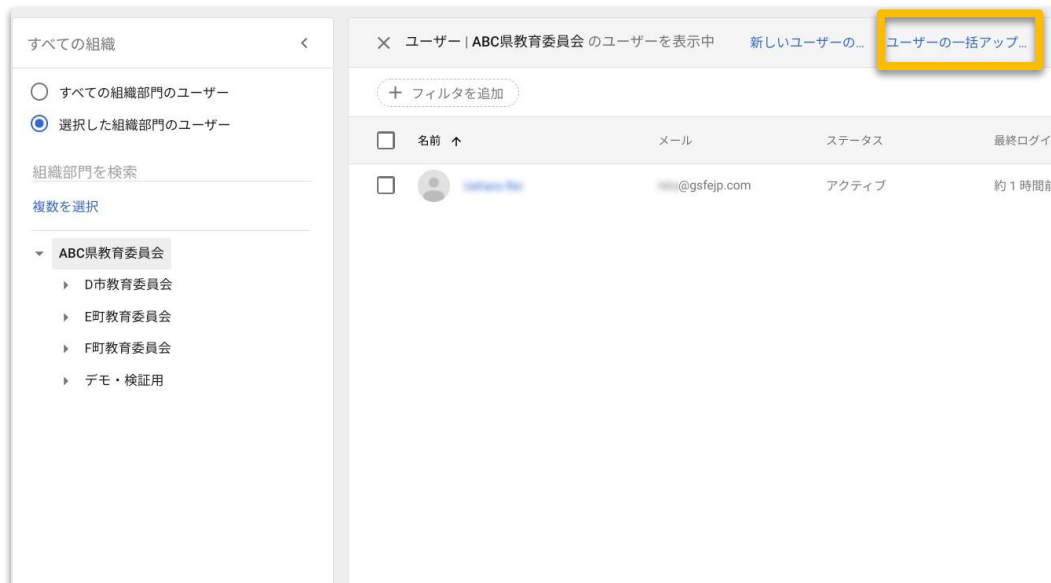


一括作成

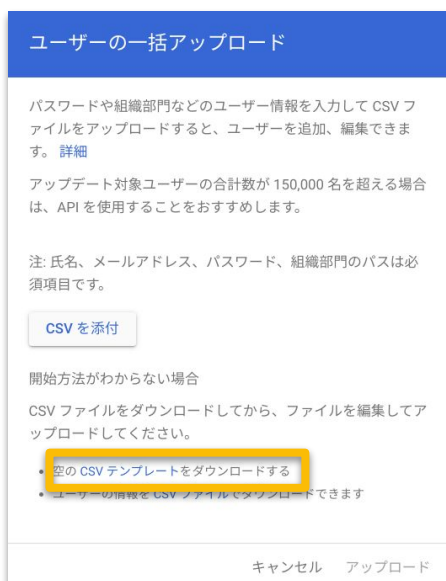
1 管理コンソールダッシュボードの「ユーザー」をクリックします。



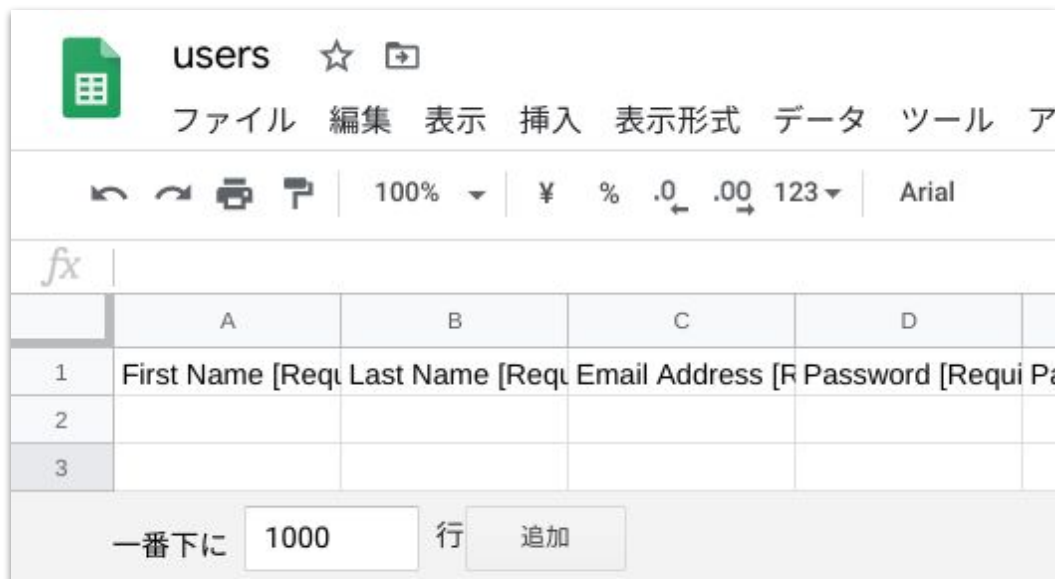
2 一括で作成する場合は、「ユーザーの一括アップロード」をクリックします。



3 「CSVテンプレート」をクリックし、テンプレートをダウンロードします。



4 CSVのA列(名)、B列(姓)、C列(メールアドレス)、D列(パスワード)、F列(組織部門)が必須項目です。



※ 不要な列は削除しても問題ありません。
 ※ Z列のパスワードの変更は任意ですが、初回ログイン時に変更させる場合は「TRUE」、変更させない場合は「FALSE」とそれぞれ入力することをおすすめします。

組織部門(Org Unit Path)の入力について

	A	B	C	D	E
1	First Name [Required]	Last Name [Required]	Email Address [Required]	Password [Required]	Org Unit Path [Required]
2	太郎	山田	t-yamada@yourdemo1234		/D市教育委員会
3					

- ・組織部門は、「/(半角スラッシュ)」を入力後、続けて組織部門名を入力します。トップの組織部門(ドメイン名)に追加する場合は、「/」のみを入力します。
- ・トップの組織から2階層以上下にユーザーを追加する場合には、以下のように入力します。



左の例の入力方法:

/D市教育委員会/D市立あおい小学校
 ※スラッシュの前後にスペースは不要です。

5 CSV データを更新後、CSVデータを添付してアップロードしてください。

ユーザーの一括アップロード

パスワードや組織部門などのユーザー情報を入力して CSV ファイルをアップロードすると、ユーザーを追加、編集できます。 [詳細](#)

アップデート対象ユーザーの合計数が 150,000 名を超える場合は、API を使用することをおすすめします。 [詳細](#)

注: 氏名、メールアドレス、パスワード、組織部門のパスは必須項目です。

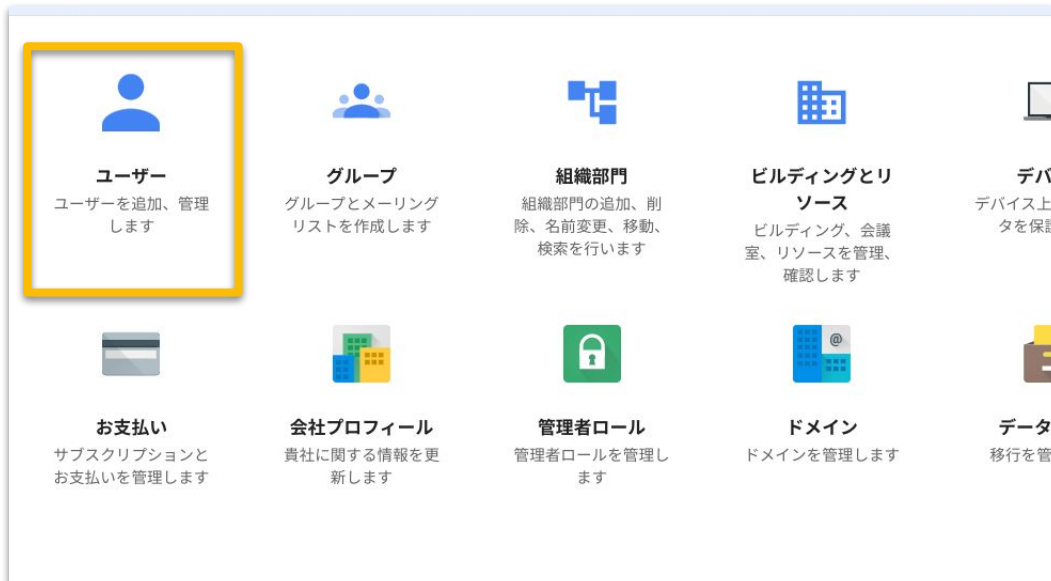
ファイルが添付されています
users - users (2).csv ✕

キャンセル **アップロード**



作成した ユーザー情報の変更

1 管理コンソールダッシュボードの「ユーザー」をクリックします。



2 「フィルタを作成」をクリックし、フィルタの条件を選択します。



- 1 フィルタを適用させた状態で、「ユーザーをダウンロードします」をクリックします。

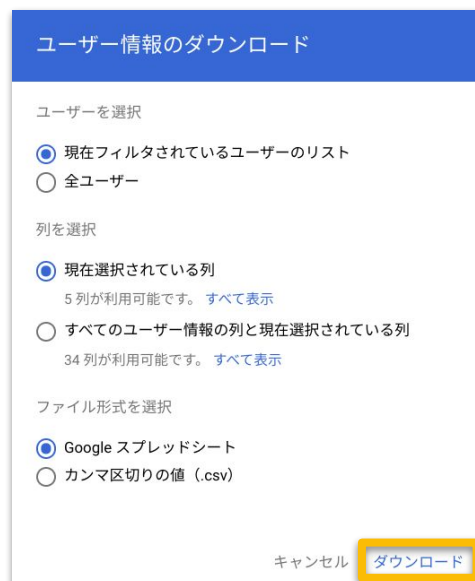


ユーザー | すべての組織部門のユーザーを表示中 新しいユーザーの... ユーザーの一括アップロ... **ユーザーをダウンロードします** その他 ▾

メール: "202004" フィルタをクリア

<input type="checkbox"/>	名前 ↑	メール	ステータス	最終ログイン	メール使用量	+
<input type="checkbox"/>	右松 さり	2020040030-s-migimatsu...	アクティブ (最近追加)	未ログイン	0 GB	
<input type="checkbox"/>	笹原 のぞむ	2020040008-n-sasahara...	アクティブ (最近追加)	未ログイン	0 GB	
<input type="checkbox"/>	柳浦 みおり	2020040002-m-yanagiura...	アクティブ (最近追加)	未ログイン	0 GB	
<input type="checkbox"/>	西里 ゆり子	2020040018-y-nishizato...	アクティブ (最近追加)	未ログイン	0 GB	
<input type="checkbox"/>	赤垣 ダニエル	2020040023-d-akagaki@...	アクティブ (最近追加)	未ログイン	0 GB	
<input type="checkbox"/>	弓崎 久弘	2020040025-h-yumizaki...	アクティブ (最近追加)	未ログイン	0 GB	
<input type="checkbox"/>	高沢 享	2020040041-t-takazawa...	アクティブ (最近追加)	未ログイン	0 GB	
<input type="checkbox"/>	真川 佳林	2020040034-k-sanagawa...	アクティブ (最近追加)	未ログイン	0 GB	
<input type="checkbox"/>	古石 俊	2020040037-s-koishi@gs...	アクティブ (最近追加)	未ログイン	0 GB	
<input type="checkbox"/>	林田 優	2020040006-m-hayashid...	アクティブ (最近追加)	未ログイン	0 GB	

- 3 「ダウンロード」をクリックします。



ユーザー情報のダウンロード

ユーザーを選択

- 現在フィルタされているユーザーのリスト
- 全ユーザー

列を選択

- 現在選択されている列
5列が利用可能です。 [すべて表示](#)
- すべてのユーザー情報の列と現在選択されている列
34列が利用可能です。 [すべて表示](#)

ファイル形式を選択

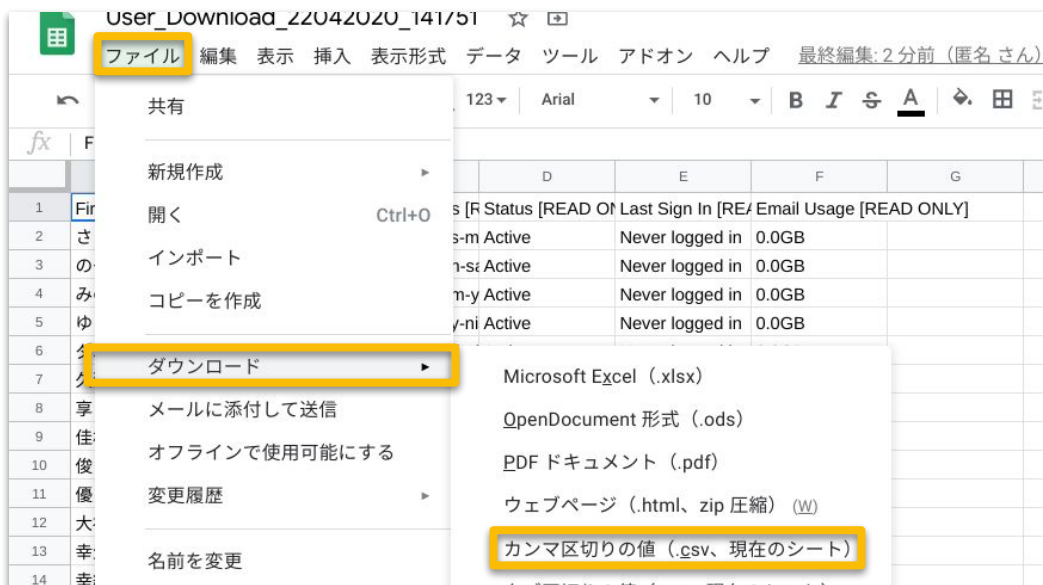
- Google スプレッドシート
- カンマ区切りの値 (.csv)

キャンセル **ダウンロード**

- 4 画面右上のタスクにて処理が完了したら、**「Google スプレッドシートで開く」**をクリックします。

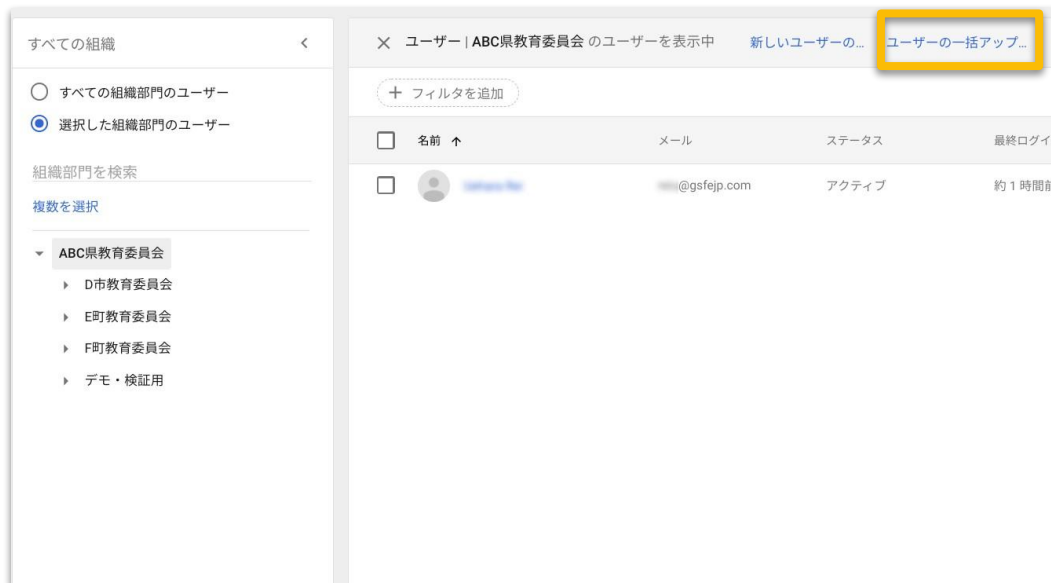


- 5 変更箇所を編集後、「ファイル」から「ダウンロード」を選択し、**「カンマ区切りの値(.csv、現在のシート)」**をクリックします。

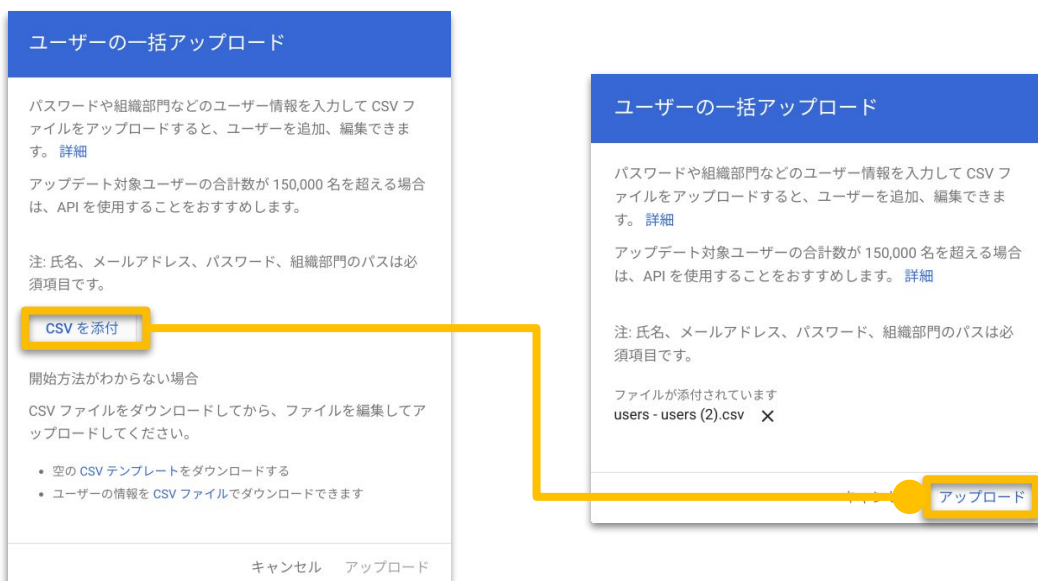


※ このとき、既存のユーザーのパスワードを変更しない場合は、**パスワード入力欄に「****」(アスタリスク4つ)**を入力します。

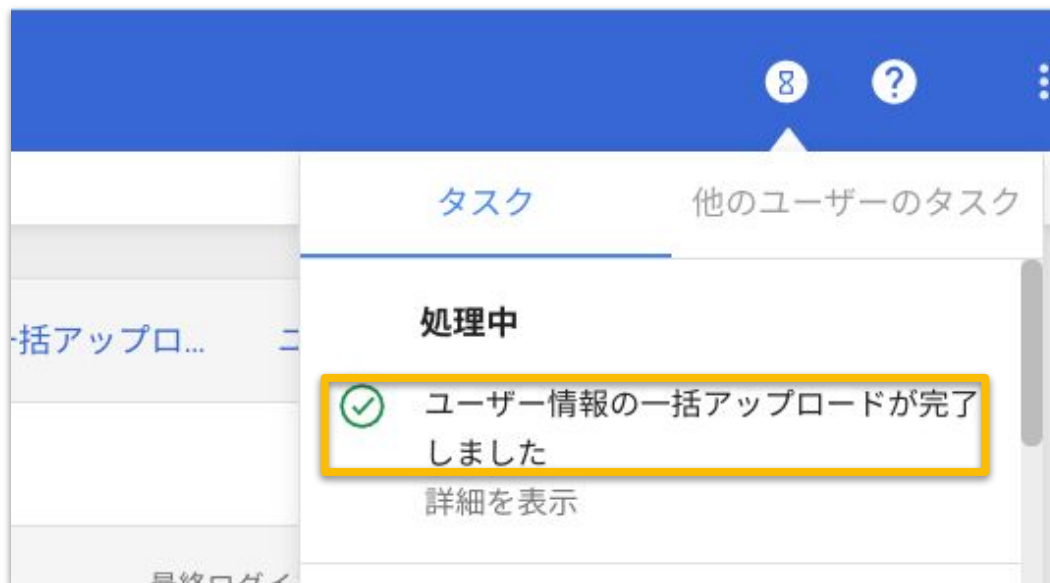
6 管理コンソールに戻り、「ユーザーの一括アップロード」をクリックします。



7 「CSVを添付」をクリックし、5でダウンロードした CSV ファイルを添付し、アップロードします。





- 8 画面右上のタスクにて「ユーザー情報の一括アップロードが完了しました」と表示されたら更新完了です。



- 9 個別に情報を変更したいときは、各ユーザーにカーソルを合わせることでユーザー名やパスワード、組織部門の変更が可能です。



 ユーザーごとの設定 | 

初期設定の手順

Step 1 組織部門作成

Step 2 Chromebook の登録

Step 3 ユーザー作成

Step 4 ユーザーごとの設定

Step 5 端末の設定

Step 6 グループ作成

Step 7 管理者の役割の付与

Step 8 その他の設定

管理コンソール上で設定できること

Step 4 : ユーザーの設定

1 端末・ブラウザを問わず 適用が可能 G Suite for Education 各アプリの制御



G Suite for Education



Google Classroom

- ✓ 各アプリの**有効化・無効化**の設定
- ✓ 各アプリの詳細設定

2 端末は問わないが、**Chrome ブラウザ利用時のみ** 適用が可能 Chrome ブラウザの制御

よくある例

各種機能の**禁止**

- ✓ 画面キャプチャ
- ✓ シークレットモード
- ✓ 外部ストレージ
- ✓ 印刷

各種機能の**設定**

- ✓ ブラウザの履歴の保存を強制する
- ✓ Web サイトのブラックリストの指定

管理コンソール上で設定できること

Step 5 : 端末の設定

3 Chromebook を利用している場合のみ適用が可能 端末の制御 (MDM)



よくある例

- ✓ 決められたユーザーのみにログインを限定
- ✓ ログイン時のドメインの
オートコンプリートの許可
- ✓ 盗難・紛失時の端末の遠隔制御
- ✓ OSの更新の自動・手動の管理



G Suite for Education の アプリの利用設定

管理コンソール上で設定できること

Step 3: ユーザーの設定

1 端末・ブラウザを問わず適用が可能 G Suite for Education 各アプリの制御



G Suite for Education



Google Classroom

✓ 各アプリの**有効化・無効化**の設定

✓ 各アプリの詳細設定

2 端末は問わないが、Chrome ブラウザ利用時のみ適用が可能 Chrome ブラウザの制御

よくある例

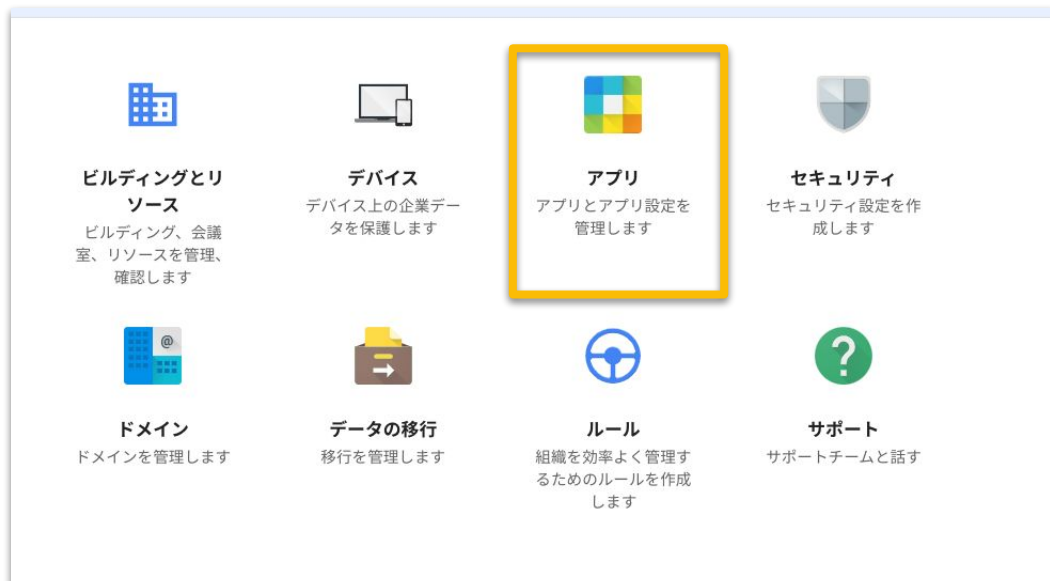
各種機能の禁止

- ✓ 画面キャプチャ
- ✓ シークレットモード
- ✓ 外部ストレージ
- ✓ 印刷

各種機能の設定

- ✓ 各自治体専用のアプリストアの作成
- ✓ Web サイトのブラックリストの指定

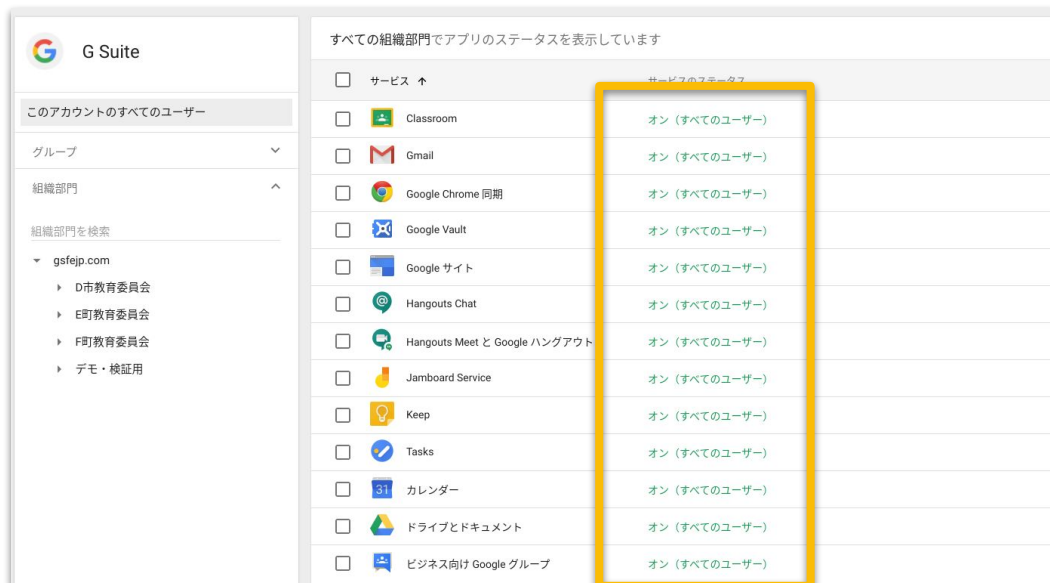
1 管理コンソールダッシュボードの「アプリ」をクリックします。



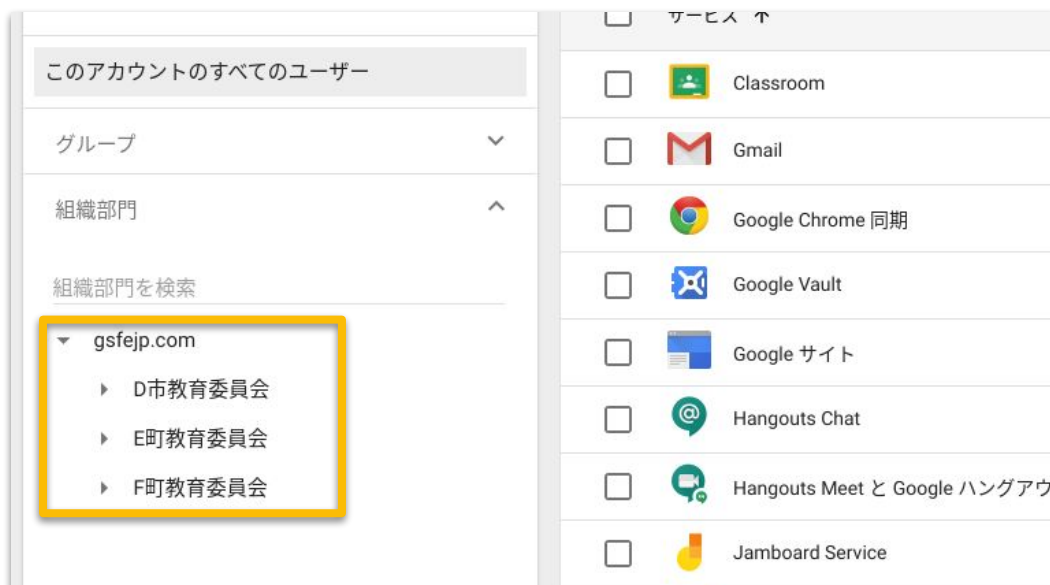
2 画面左上の「G Suite」をクリックします。



3 G Suite のコアサービスの項目は全部で13あり、初期設定はすべて有効化されています。



4 設定を変更したい組織部門を選択します。 ドメイン下のユーザーすべてに反映させたい場合は、 トップの組織部門を選択します。



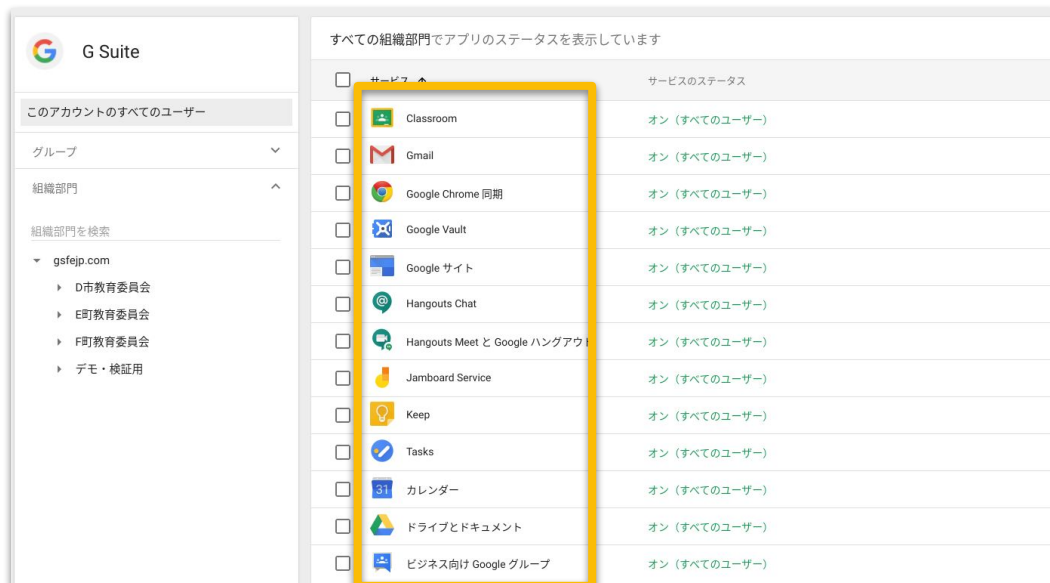
※ 上位の組織部門で設定した内容は、**下位の組織部門にも継承されます。**

5 組織部門を選択後、設定を変更するアプリのチェックボックスにチェックを入れ、右上の「オフ」をクリックします。

The screenshot shows the Google Admin console interface. On the left, the 'Organization' (組織部門) section is expanded, showing a list of departments under 'gsfejp.com'. The 'D市教育委員会' (D City Education Commission) is selected, and its sub-items 'D市立あおい小学校' (D City Aoi Elementary School) and 'D市立さくら中学校' (D City Sakura Middle School) are visible. The main area displays a table of services with their status and inheritance options. The 'Hangouts Chat' service is selected, and the 'Turn off' (オフ) button in the top right corner is highlighted with a yellow box.

サービス	サービスのステータス	オン/オフの継承ステータス
<input type="checkbox"/> サービス		
<input type="checkbox"/> Classroom	オン	継承
<input type="checkbox"/> Gmail	オン	継承
<input type="checkbox"/> Google Chrome 同期	オン	継承
<input type="checkbox"/> Google Vault	オン	継承
<input type="checkbox"/> Google サイト	オン	継承
<input checked="" type="checkbox"/> Hangouts Chat	オン	継承
<input type="checkbox"/> Hangouts Meet と Google ハングアウト	オン	継承
<input type="checkbox"/> Jamboard Service	オン	継承
<input type="checkbox"/> Keep	オン	継承
<input type="checkbox"/> Tasks	オン	継承
<input type="checkbox"/> カレンダー	オン	継承
<input type="checkbox"/> ドライブとドキュメント	オン	継承
<input type="checkbox"/> ビジネス向け Google グループ	オン	継承

6 各アプリ名をクリックすると、そのアプリの詳細設定を行うことができます。



7 各アプリの詳細設定によっては、ユーザーごとやグループ(※後述)ごとなど細かい単位で設定を反映させることもできます。



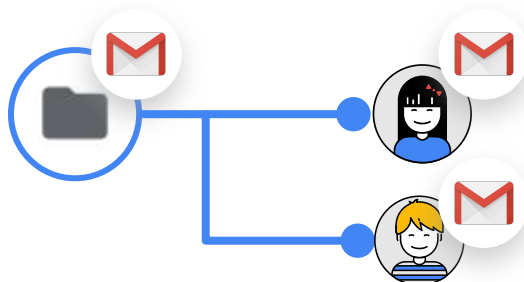
各アプリの詳細設定について

組織部門としてGmailを有効化



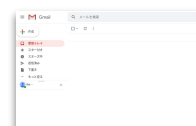
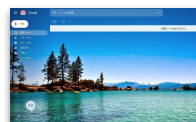
Gmailの詳細設定をユーザーごとに変更

ユーザーが独自のテーマを選択できるようにします: オン



Gmailで独自のテーマを
選ぶ

Gmailで独自のテーマを
選べない



アプリ全体の有効化 / 無効化を組織部門単位で設定した上で、各アプリの詳細設定についてはユーザーごとやグループごとに細かく制御することもできるため、組織部門を必要以上に作成する必要がなくなります。※ 設定によってはできないものもあります。

よくあるアプリごとでできる詳細設定について

アプリ	設定項目名	設定内容
Gmail	配信を制限	ドメイン外のユーザーとのメールの許可 / 禁止
Google Chat	外部とのチャット	ドメイン外のユーザーとのチャットの許可 / 禁止
Google ドライブ	外部との共有	ドメイン外のユーザーとの共有の許可 / 禁止
Google サイト	外部との共有	ドメイン外のユーザーとの共有の許可 / 禁止
Google Classroom	教師の権限	教師の権限を承認制にする
	保護者のアクセス	保護者にClassroom の情報へのアクセスの許可 / 禁止
	クラスのメンバーについて	ドメイン外のユーザーへのクラスへのアクセスの許可 / 禁止

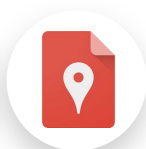
その他のサービスについて

その他の Google サービス 

ブログ、写真、動画、ソーシャルツールなど

サービス 52 個

G Suite for Education コアサービス以外のアプリの有効化 / 無効化の設定ができます。





Chrome ブラウザ 利用時の設定

管理コンソール上で設定できること

Step 4 : ユーザーの設定

1 端末・ブラウザを問わず適用が可能 G Suite for Education 各アプリの制御



G Suite for Education



Google Classroom

✓ 各アプリの有効化・無効化の設定

✓ 各アプリの詳細設定

2 端末は問わないが、Chrome ブラウザ利用時のみ適用が可能 Chrome ブラウザの制御

よくある例

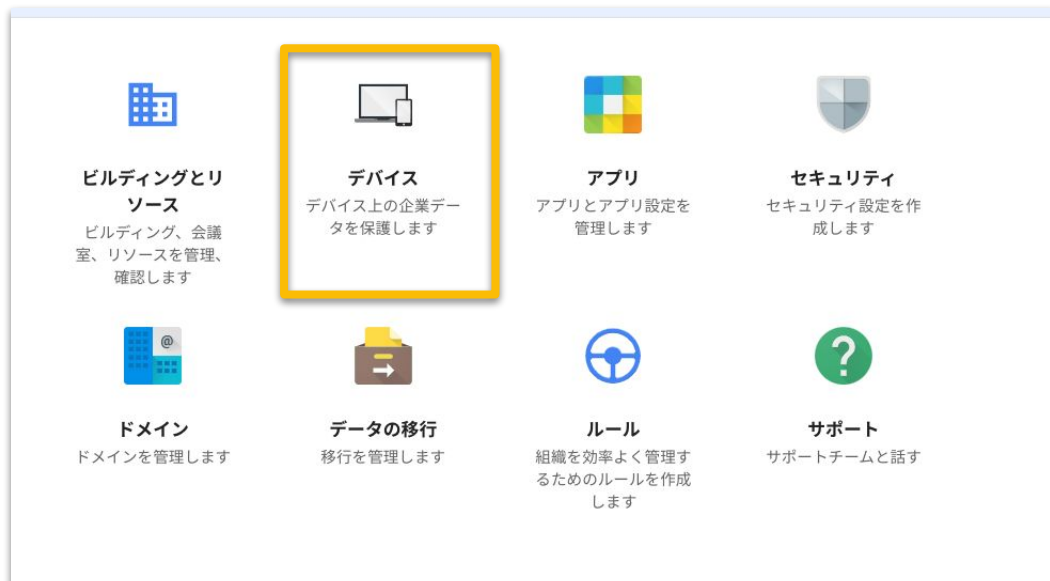
各種機能の**禁止**

- ✓ 画面キャプチャ
- ✓ シークレットモード
- ✓ 外部ストレージ
- ✓ 印刷

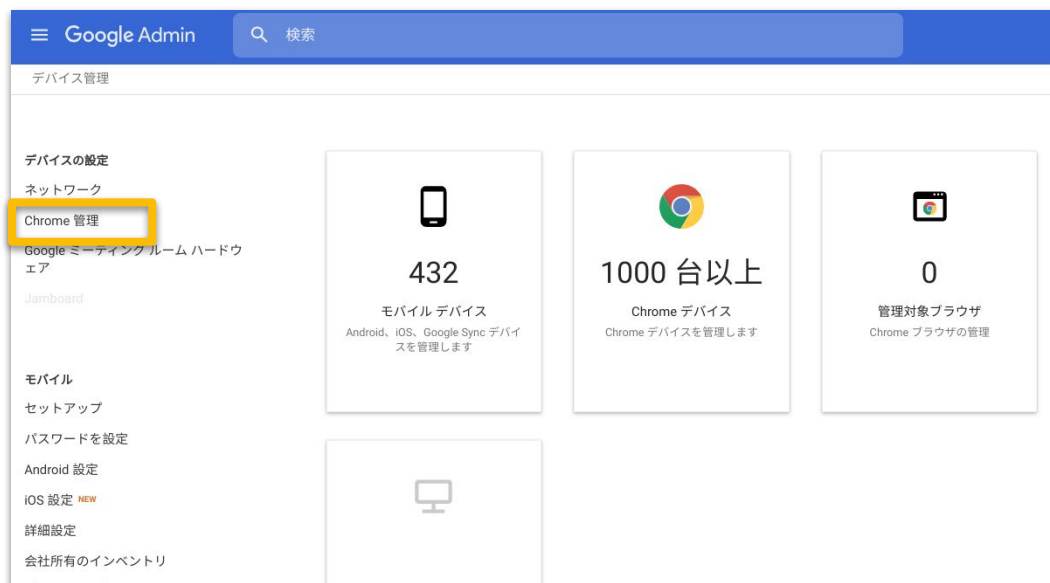
各種機能の**設定**

- ✓ 各自治体専用のアプリストアの作成
- ✓ Web サイトのブラックリストの指定

1 管理コンソールダッシュボードの「デバイス」をクリックします。



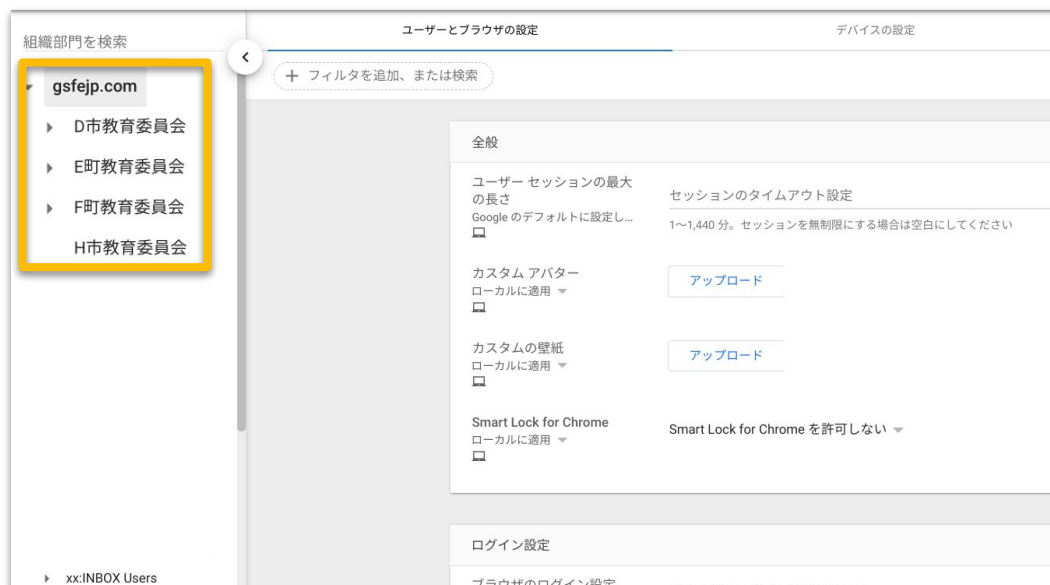
2 画面左上の「Chrome 管理」をクリックします。



3 「ユーザーとブラウザの設定」をクリックします。



4 組織部門を選択し、該当の設定を適用させます。



5 設定適用後は、画面右上の「保存」をクリックします。



※ ユーザーとブラウザの設定の項目一覧は末項の Appendix に記載しています。

 端末の設定 | 

初期設定の手順

Step 1 組織部門作成

Step 2 Chromebook の登録

Step 3 ユーザー作成

Step 4 ユーザーごとの設定

Step 5 端末の設定

Step 6 グループ作成

Step 7 管理者の役割の付与

Step 8 その他の設定



管理コンソール上で設定できること

Step 5 : 端末の設定

3



Chromebook を利用している場合のみ適用が可能

端末の制御 (MDM)



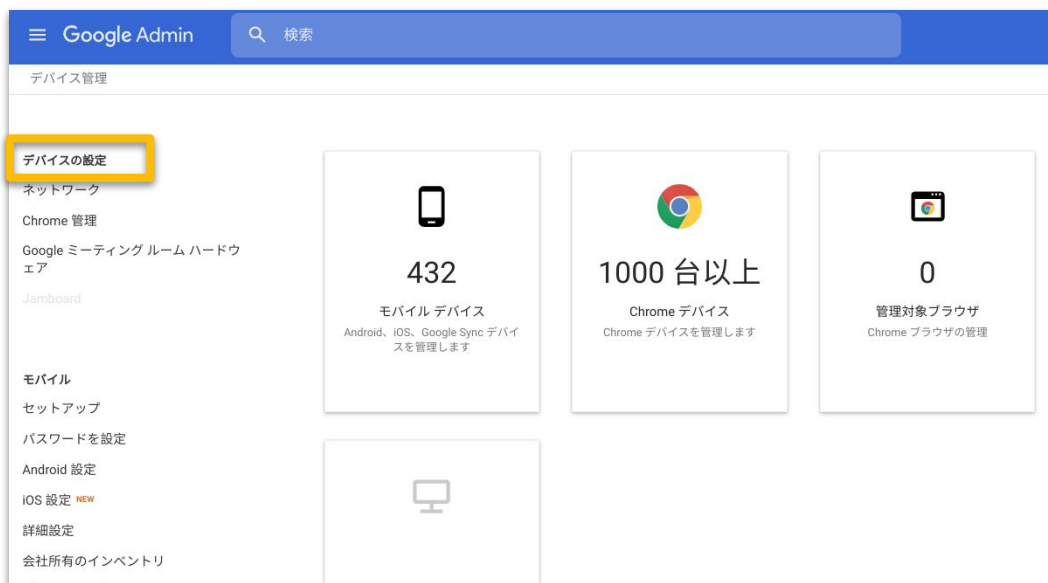
よくある例

- ✓ 決められたユーザーのみにログインを限定
- ✓ ログイン時のドメインのオートコンプリートの許可
- ✓ 盗難・紛失時の端末の遠隔制御
- ✓ OSの更新の自動・手動の管理

1 管理コンソールダッシュボードの「デバイス」をクリックします。



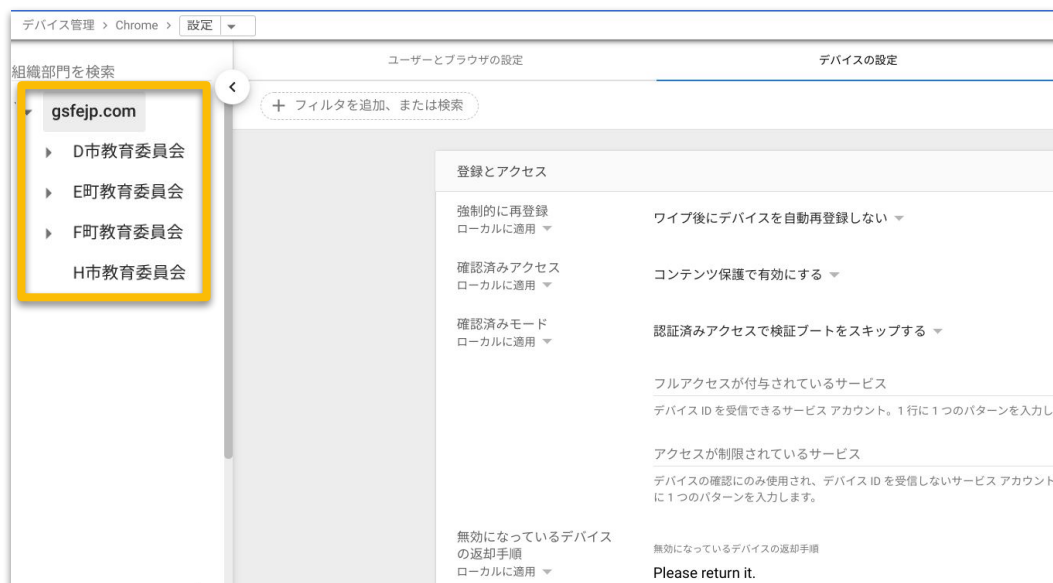
2 画面左上の「Chrome 管理」をクリックします。



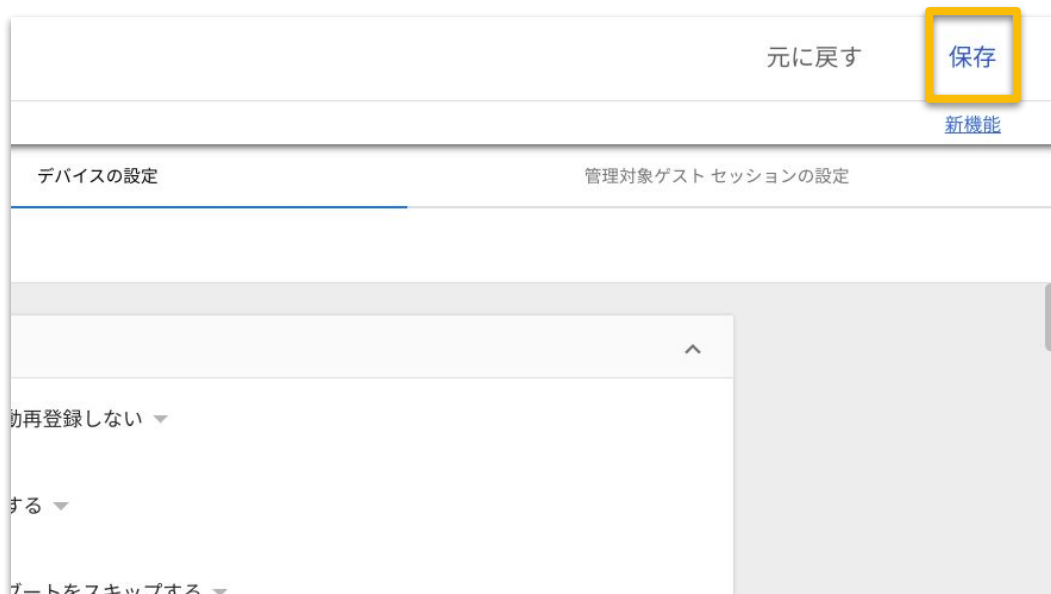
3 「デバイスの設定」をクリックします。




4 組織部門を選択し、該当の設定を適用させます。



5 設定適用後は、画面右上の「保存」をクリックします。



※ 端末の設定の項目一覧は末項の Appendix に記載しています。

🔍 グループ作成 | 

初期設定の手順

Step 1 組織部門作成

Step 2 Chromebook の登録

Step 3 ユーザー作成

Step 4 ユーザーごとの設定

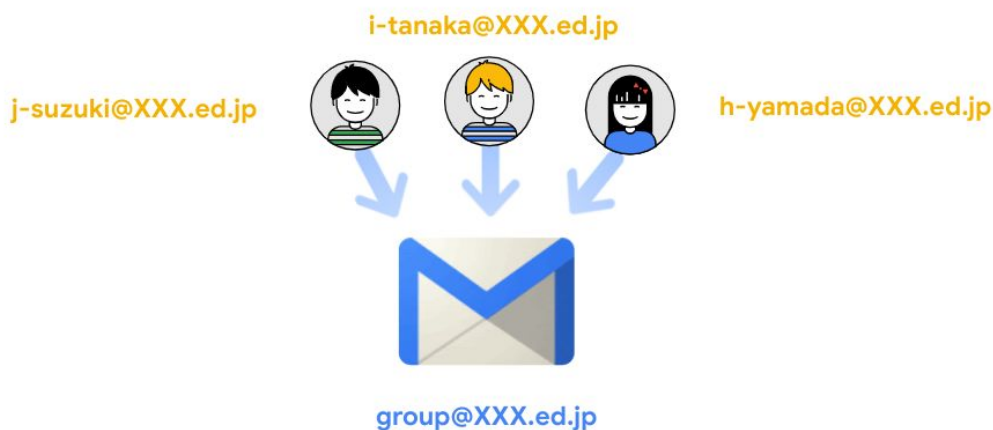
Step 5 端末の設定

Step 6 グループ作成

Step 7 管理者の役割の付与

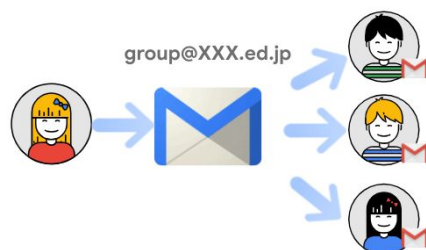
Step 8 その他の設定

💡 Google グループとは

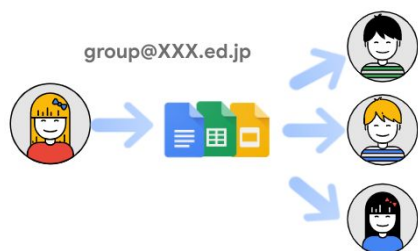


メーリングリストのように、複数のメンバーを追加できるメールアドレスです。任意の Google グループを作成し、そこにメンバーを追加することで様々な用途で利用することができます。

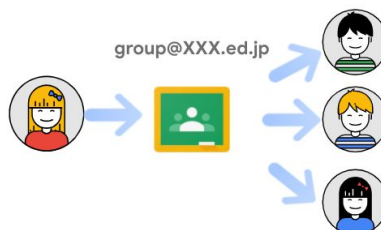
💡 Google グループでできること



メンバーに一括で送信できます

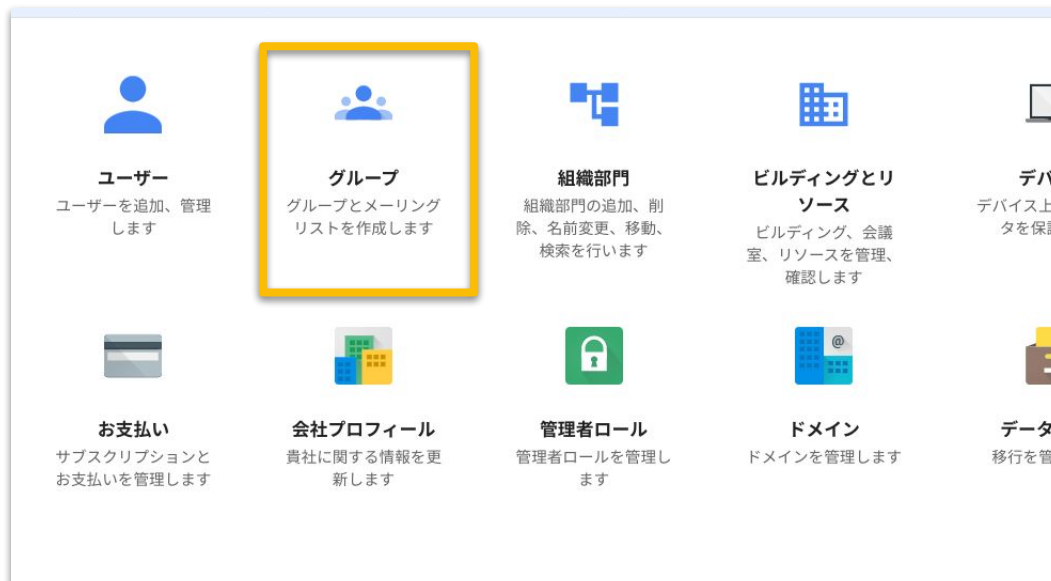


メンバーに一括で共有できます



生徒をクラスに一括で招待できます

1 管理コンソールダッシュボードの「グループ」をクリックします。



2 画面上部の「グループを作成」をクリックします。



3 グループの詳細情報を入力し、「次へ」をクリックします。 (グループ名、グループアドレス、グループのオーナーは必須項目です)

グループの詳細

名前*
ABC中学校教員のグループ

説明

グループのメールアドレス*
acb-teachers @ gsfejp.com

グループのオーナー
h-kato@gsfejp.com ユーザーの名前やメールアドレスを検索

*は必須項目です

[次へ](#)

4 アクセスタイプを公開、チーム、通知のみ、制限付き、カスタムから選択し、画面右下の「グループを作成」をクリックします。

アクセスタイプ

メンバーのアクセス グループの種類を管理できます。詳細
注: 外部メンバーは、グループのメンバーを表示したり、グループのコンテンツを検索したりすることはできません

公開
 チーム
 通知のみ
 制限付き
 カスタム

アクセス設定	グループの オーナー	グループの 管理者	グループの メンバー	組織 全体	外部
オーナーに連絡	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
メンバーを表示	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
トピックを表示	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
投稿を公開	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
メンバーの設定					
メンバーを管理 追加、招待、承認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

グループに参加できるユーザー
組織内のすべてのユーザーが参加できる

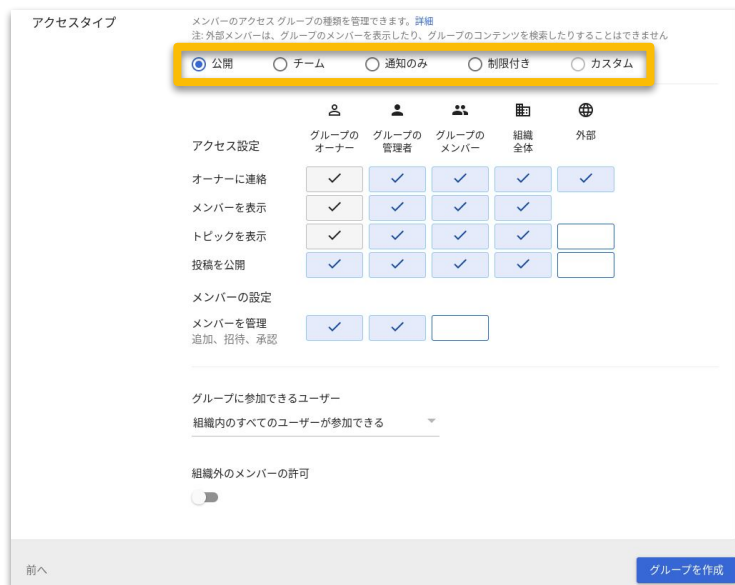
組織外のメンバーの許可

[グループを作成](#)

- 5 画面左上の **+** にカーソルを合わせ「ユーザーを追加」もしくは「ユーザーを一括でアップロード」を選択 **↑** します。



- 6 アクセスタイプを公開、チーム、通知のみ、制限付き、カスタムから選択し、画面右下の「**グループを作成**」をクリックします。





個別の作成

- 1 追加するメンバーのアドレスもしくは別のGoogleグループアドレスを入力し「グループに追加」をクリックします。

ABC中学校教員のグループ へのメンバーの追加

新規ユーザーに対する設定は自動的に [すべてのメール] になります。

2020040017-a-mashima@gsfejp.com

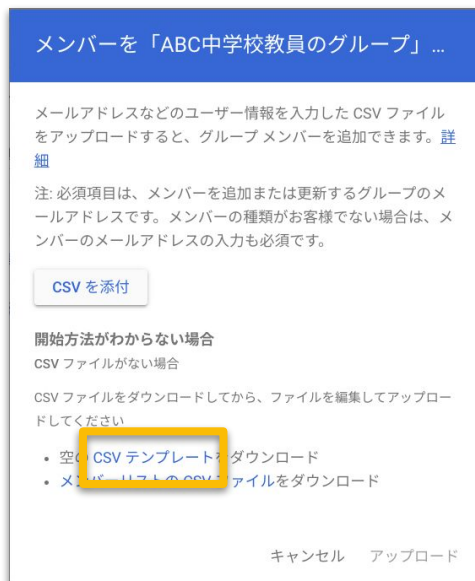
ユーザーまたはグループを検索

詳細 キャンセル グループに追加



一括作成

1 「CSVテンプレート」をクリックし、テンプレートをダウンロードします。



2 CSVのA列(Google グループアドレス)、B列(メンバーのメールアドレス)が必須項目です。

	A	B	C	D	E
1	Group Email [Re...	Member Email	Member Type	Member Role	
2					
3					
4					
5					
6					
7					

3 CSV データを更新後、CSVデータを添付してアップロードしてください。

メンバーを「ABC中学校教員」に一括アップロード

メールアドレスなどのユーザー情報を入力した CSV ファイルをアップロードすると、グループメンバーを追加できます。詳細

注: 必須項目は、メンバーを追加または更新するグループのメールアドレスです。メンバーの種類がお客様でない場合は、メンバーのメールアドレスの入力も必須です。

ファイルが添付されています
members_template - members_template (1) (2).csv ✕

開始方法がわからない場合
CSV ファイルがない場合

CSV ファイルをダウンロードしてから、ファイルを編集してアップロードしてください

- 空の CSV テンプレートをダウンロード
- メンバーリストの CSV ファイルをダウンロード

キャンセル アップロード

項目の入力について

	A	B	C	D	E
1	Group Email [Re]	Member Email	Member Type	Member Role	
2	abc-teachers-gro	2020040001-y-ode@gsfejp.com			
3	abc-teachers-gro	2020040002-m-yanagiura@gsfejp.com			
4	abc-teachers-gro	2020040003-k-ono@gsfejp.com			
5	abc-teachers-gro	2020040004-t-iwasa@gsfejp.com			
6	abc-teachers-gro	2020040005-e-atsumi@gsfejp.com			
7	abc-teachers-gro	2020040006-m-hayashida@gsfejp.com			
8	abc-teachers-gro	2020040007-a-furukawa@gsfejp.com			
9	abc-teachers-gro	2020040008-n-sasahara@gsfejp.com			

- A列には2行目と同じグループメールをコピーしてください。
- B列にはグループメールに登録するメンバーのメールアドレスを各行に入力してください。
- C列・D列は空欄で問題ありません。

グループの役割について

役割	オーナー	マネージャー	メンバー
グループメンバーの表示	○	○	○
グループからの退会	○	○	○
グループへのメッセージ送信	○	○	○
グループへのメンバー追加	○	○	
グループのメンバー削除	○	○	
グループメンバーの役割変更	○	○	
グループの設定変更	○	○	
グループの削除	○		
グループのオーナー権限の譲渡	○		

各グループのアクセス設定の違い

用途	内容
公開	ドメイン内のすべてのユーザーに公開されます。
チーム	ドメイン内の特定のチームに公開されます。組織内の特定の部署またはチームで利用するグループを作成する場合は、この設定を選択します。
通知のみ	グループへの情報配信に使用します。たとえば、学校内・教育委員会からの情報を受け取るグループにこの設定を使用します。
制限付き	非公開情報や機密情報を共有する一部のメンバーの限定公開グループに使用します。
カスタム	カスタムで設定をする場合に選択します。

／ 組織部門とグループの考え方の違い

- ✓ 組織部門
Step 4, 5のユーザー設定、端末設定など、
管理コンソール上の以下の設定の有効化 / 無効化を
反映させるために使用します。
 - 「アプリ」内の**各種アプリ**
 - 「デバイス」内の**「ユーザーとブラウザの設定」**
 - 「デバイス」内の**「端末の設定」**

- ✓ Google グループ
役割ごとの共有などに使用します (P63 参照)
 - 特定のグループへのメールの一括送信
 - 特定のグループへのファイルの一括共有
 - Google Classroom 内のクラスへの生徒の一括招待

管理者の役割の付与 |

初期設定の手順

Step 1 組織部門作成

Step 2 Chromebook の登録

Step 3 ユーザー作成

Step 4 ユーザーごとの設定

Step 5 端末の設定

Step 6 グループ作成

Step 7 管理者の役割の付与

Step 8 その他の設定



管理者の役割とは

✓ 管理者の役割の付与

管理コンソールでは、ユーザーに管理コンソール上の特定の役割を付与することができます。

役割は、Google があらかじめ用意をしている以下の役割(システムロール)の他、自由に役割をカスタマイズすることも可能です。

※ 契約時のアカウントに特権管理者の役割はあらかじめ付与されています。

役割種別	内容
特権管理者	<p>管理コンソール上のすべての設定・管理が可能 です。</p> <p>特権管理者だけができる操作もあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者の権限を割り当て ・組織部門(OU)を作成・削除 ・削除したユーザーの復元やメールのログの確認
グループ管理者	<p>Google グループを作成・削除したり、グループ内のメンバーを変更・削除したりすることができます。</p>
ユーザー管理者	<p>ユーザーアカウントに関するすべての管理(追加・削除・変更)操作を行うことができます。</p>
ヘルプデスク管理者	<p>管理者以外の全ユーザーの パスワードを再設定したり、アカウントの各情報・状況を確認することができます。(閲覧のみ)</p>
サービス管理者	<p>各アプリの設定変更や、有効化の範囲設定などを行うことができます。</p>



管理者の役割の付与のポイント

✓ 特権管理者は限られたメンバーのみのアクセスに

特権管理者は、管理コンソール上のすべての設定・管理が可能です。組織内のすべての情報を閲覧・編集することができてしまうため、**特権管理者アカウントにアクセスができるメンバーは限定することをおすすめします。**

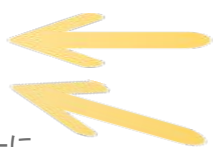
✓ ユーザーに紐付かないアカウントの検討

管理コンソール上で付与する管理者権限は、組織部門ごとではなく、**ユーザーごとに付与**します。特定のユーザーに付与することも可能ですが、当該ユーザーの異動時には、その権限を別の方に付与し直す作業が発生します。そのため、ユーザーに紐付けないアカウントを用意することで、**ICT管理担当の方の異動などの際にも権限を再付与する必要がなく、運用の手間を省くことができます。**

ユーザーAに
紐付いた管理者
権限アカウント



異動時には別のユーザーに権限を付与し直す必要がある



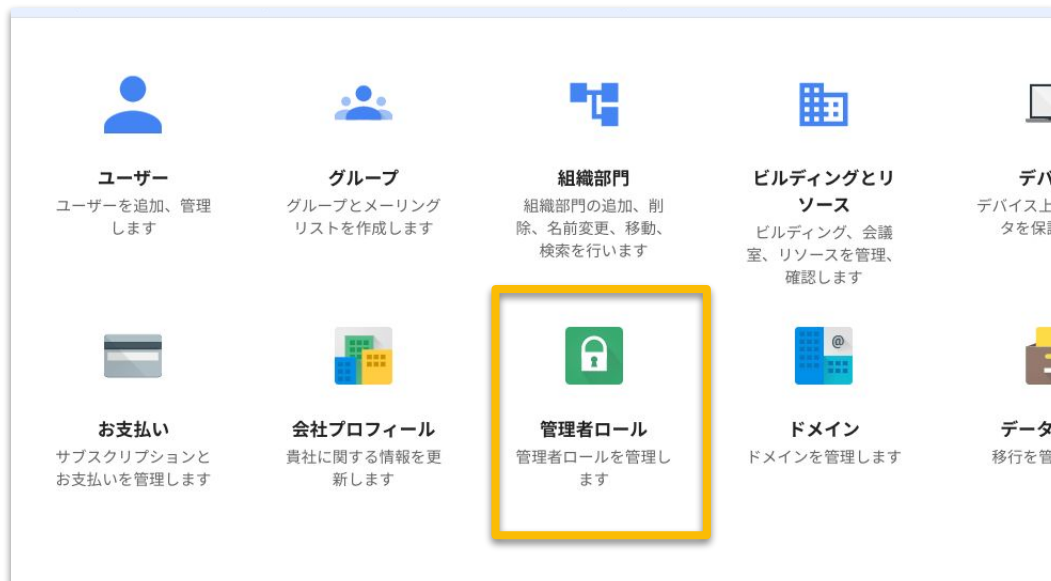
ユーザーに紐付かないので都度付与し直す必要がない

特定のユーザーに
紐付かない管理者
権限アカウント

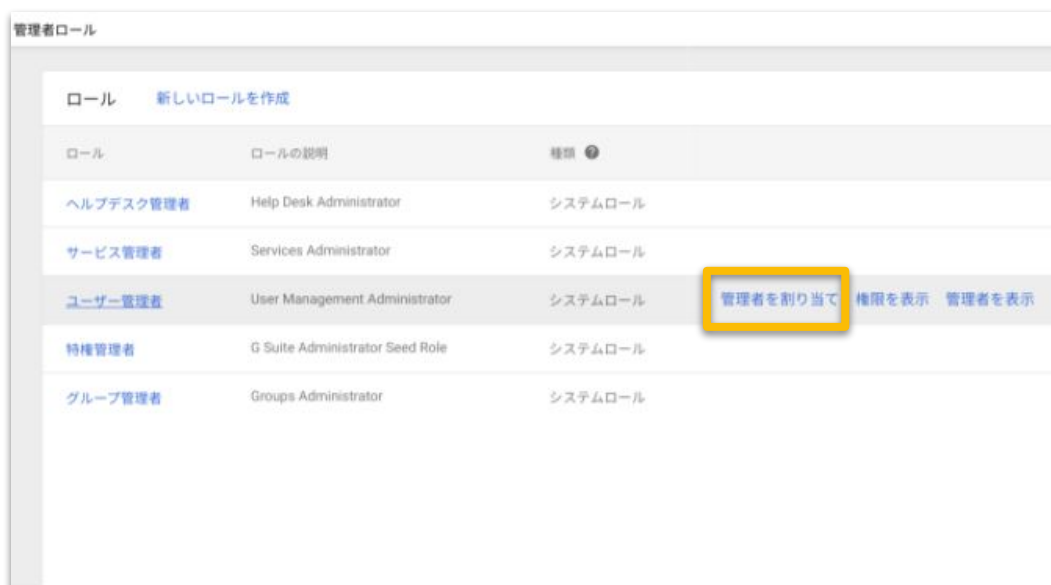


システムロールから 役割を付与する

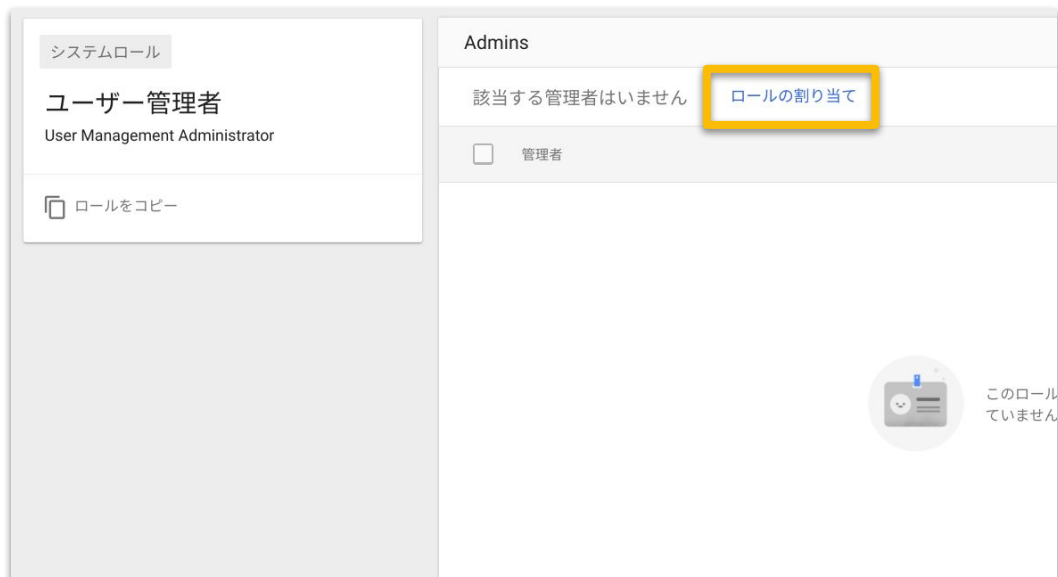
1 管理コンソールダッシュボードの「管理者ロール」をクリックします。



2 あらかじめ用意された役割(システムロール)から付与する場合は、任意の役割名にカーソルを合わせ、「管理者を割り当て」をクリックします。



3 画面上部の「**ロールの割り当て**」をクリックします。



4 ユーザー名もしくはメールアドレスを入力し、「**ロールを割り当て**」をクリックします。



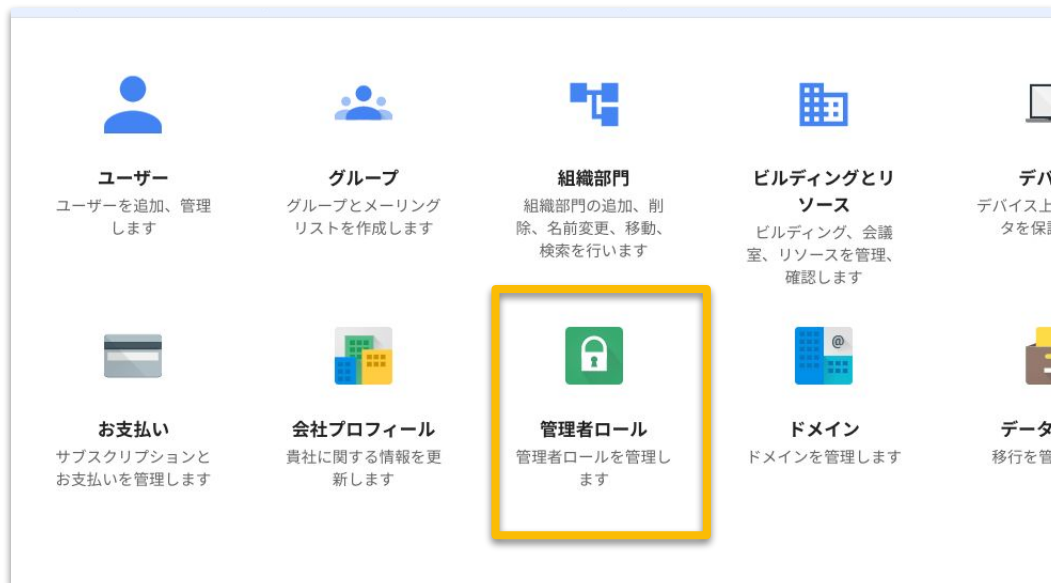
5 役割を解除する際には、ユーザー名にカーソルを合わせ、「**ロールの割り当て解除**」をクリックします。



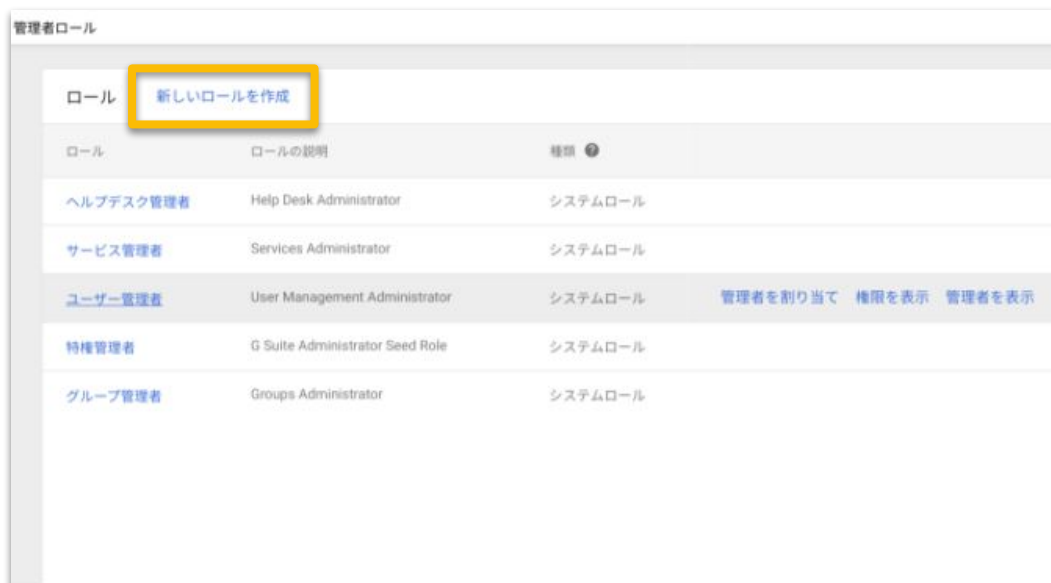


カスタムで 役割を作成する

1 管理コンソールダッシュボードの「管理者ロール」をクリックします。



2 新しくロール(役割)を作成する場合は、画面右上の「新しいロールを作成」をクリックします。



3 必須項目の役割名を入力し、「**続行**」をクリックします。

ロールの情報

名前*
監査権限

説明
各種監査をする管理者

* 必須項目

キャンセル 続行

4 作成した役割に付与したい権限のチェックボックスにチェックを入れ、右下の「**続行**」をクリックします。 ※ 下図の例では、「監査権限」の役割を作成したため、監査のために必要な権限を付与しています。

監査権限
各種監査をする管理者

8 個の権限が選択されています ×

管理コンソールで管理者権限を指定すると、対応する管理 API のリソースの権限も付与することになります。詳細

管理コンソールの権限

名前で権限を検索

権限名

Google Vault

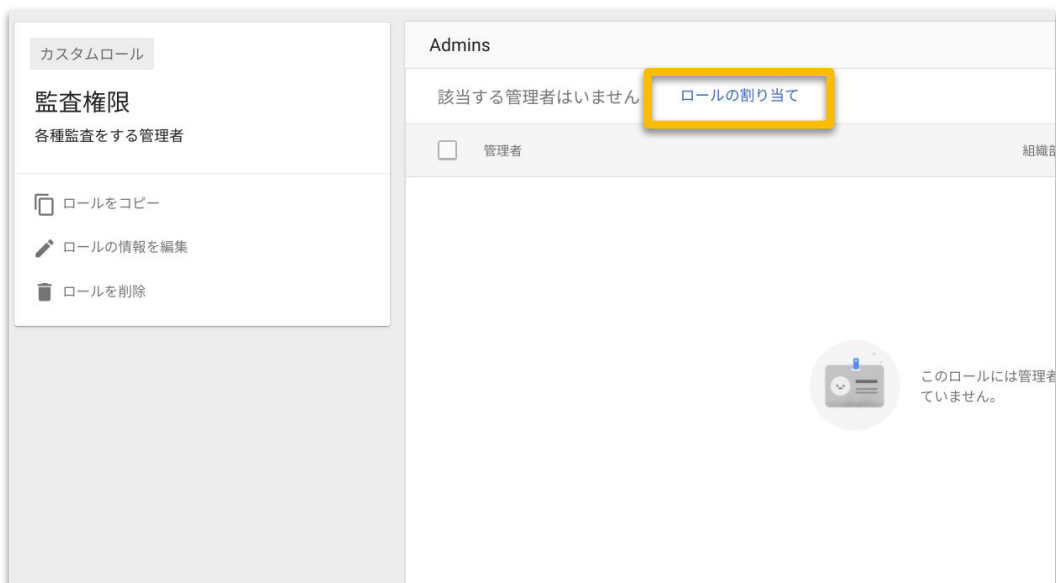
- 案件の運営
- 記録保持の管理

戻る キャンセル 続行

- 5 権限の内容に問題がなければ、右下の「**ロールを作成**」をクリックします。



- 6 続いて、「**ロールの割り当て**」をクリックします。



- 7 ユーザー名もしくはメールアドレスを入力し、「**ロールを割り当て**」をクリックします。

ユーザーを追加

ユーザーを検索して選択

割り当ての上限は 20 個です。

選択したユーザー	組織部門	
 ひかり 加藤 h-kato@gsfejp.com	gsfejp.com 	

ロールを割り当て

 その他の設定 | 

初期設定の手順

Step 1 組織部門作成

Step 2 Chromebook の登録

Step 3 ユーザー作成

Step 4 ユーザーごとの設定

Step 5 端末の設定

Step 6 グループ作成

Step 7 管理者の役割の付与

Step 8 その他の設定



ドメインの ホワイトリスト登録



ホワイトリストに登録すると

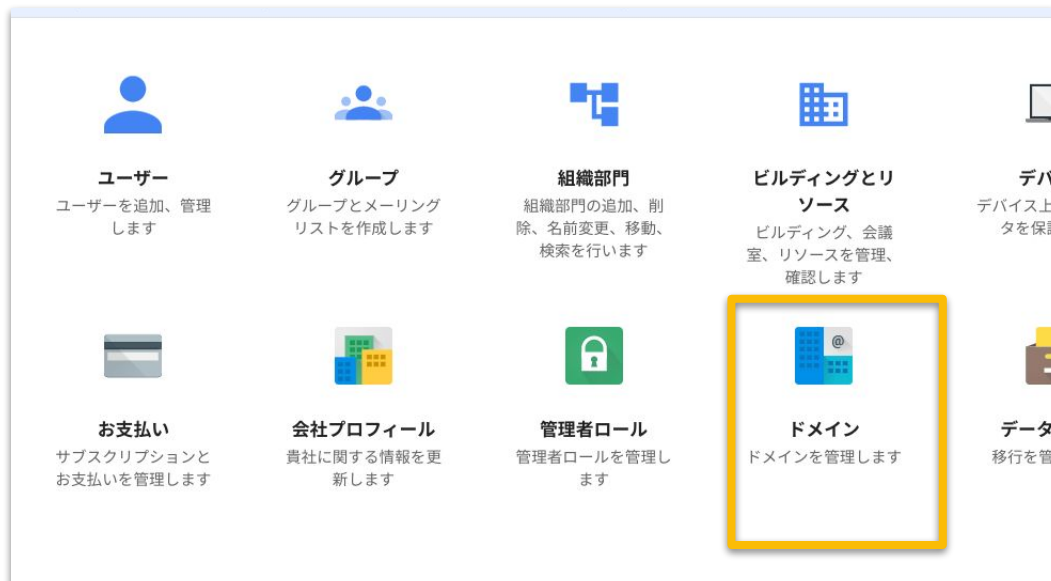
- ✓ 外部共有設定をオフにしている場合でも、ホワイトリストに登録したドメインとは Google ドライブを使ってファイルを共有できるようになります。
 - ✓ ホワイトリストにドメインを Google Classroom 内のクラスへの参加を許可することができます。
-



要件

- ✓ 現在のところ、ドメインのホワイトリスト登録に対応しているのは Google ドライブと Google Classroom のみです。
- ✓ 新しい Google サイトの場合、ホワイトリストに登録されたドメインのユーザーはサイトにアクセスできますが、サイト内検索は使用できません。
- ✓ ホワイトリストに登録するドメインは、G Suite を利用している必要があります。

1 管理コンソールダッシュボードの「ドメイン」をクリックします。



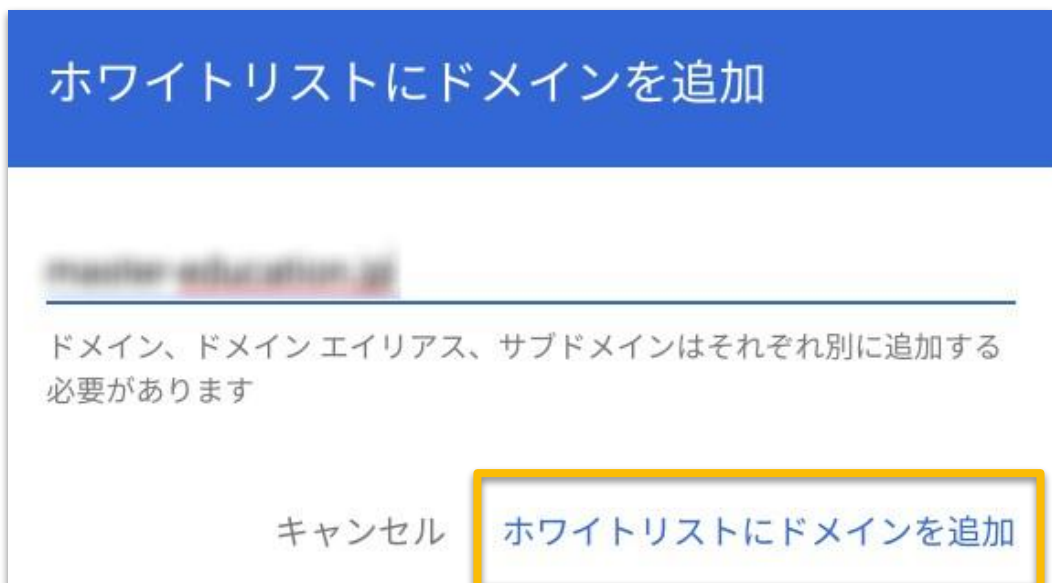
2 「ホワイトリスト登録済みドメイン」をクリックします。



3 「新しく追加」をクリックします。



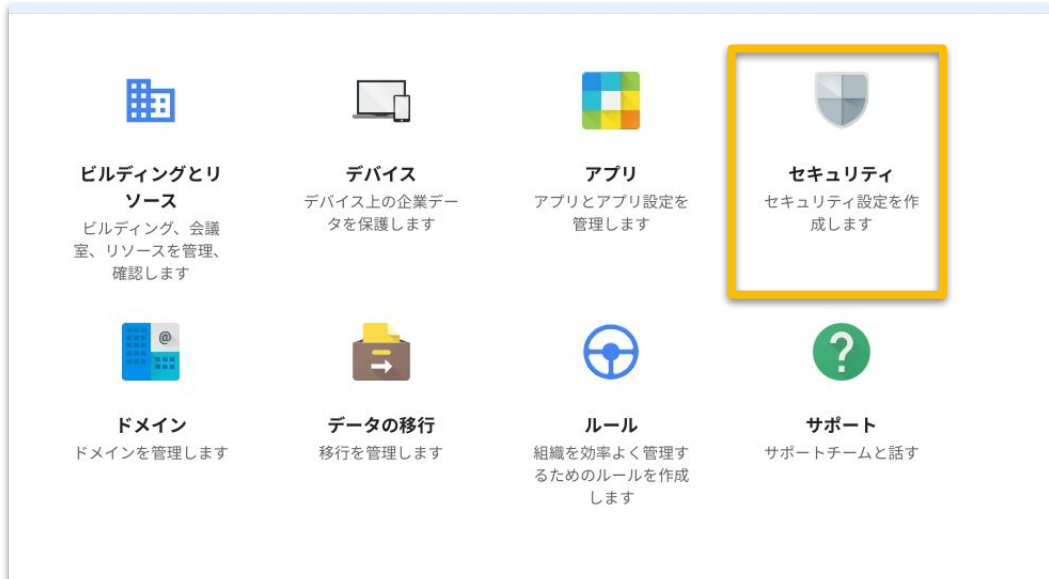
2 ホワイトリストに登録するドメインを入力し、「ホワイトリストにドメインを追加」をクリックします。





2段階認証設定

1 管理コンソールダッシュボードの「セキュリティ」をクリックします。



2 「基本設定」をクリックします。



3 「2段階認証プロセスを適用するには、詳細設定にアクセスしてください」をクリックします。



4 (省略可) 詳細設定画面で適用させる組織部門、実施する日付、2段階認証プロセスの方式を指定することができます。



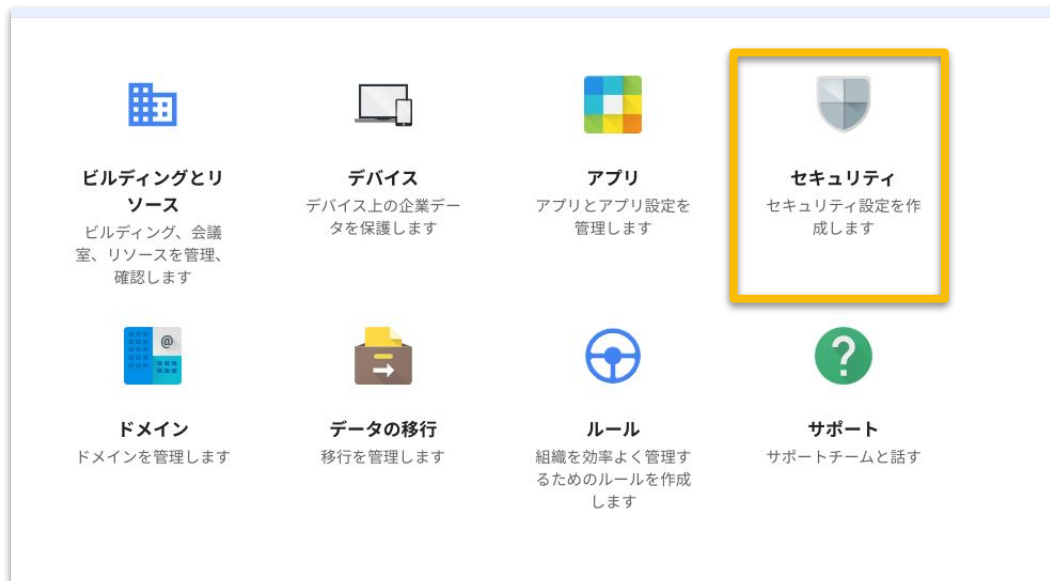
- 5 (省略可)
設定が完了したら、画面右下の「保存」をクリックします。





パスワード強度の設定

1 管理コンソールダッシュボードの「セキュリティ」をクリックします。



2 「パスワードの管理」をクリックします。



3 適用させる組織部門を選択し、パスワード強度を設定します。ここでは、長さや有効期限の設定ができます。

セキュリティの設定

組織部門

組織部門を検索

- gsfejp.com
 - D市教育委員会
 - E町教育委員会
 - F町教育委員会
 - H市教育委員会
 - デモ・検証用
 - 端末

8~100 文字で指定してください

最小の長さ 最大の長さ

8 - 100

長さと安全度の適用

長さと安全度の要件の変更は、該当するユーザーが次回パスワードを変更するときに適用されます。変更を直ちに適用するには、ユーザーの次回ログイン時に適用が開始されるように設定してください。

次回ログイン時にパスワード ポリシーを適用する

再利用

パスワードの再利用を許可

有効期限

パスワードの再設定の頻度

有効期限なし

未保存

4 設定が完了したら、画面右下の「保存」をクリックします。

未保存の変更が 1 件あります キャンセル 保存

🔍 トラブルシューティング | 

✓ ユーザーが追加できません。

デフォルトでは、G Suite for Education アカウントは 10,000 個のユーザー ライセンスをご利用いただけます。10,000 個を超えるユーザー アカウントが必要な場合は、Google Cloud サポート チームまでお問い合わせください。

1. ダッシュボード画面の「サポート」をクリック
2. 右下の「サポートに問い合わせる」をクリック
3. ご希望の問い合わせ方法を選択



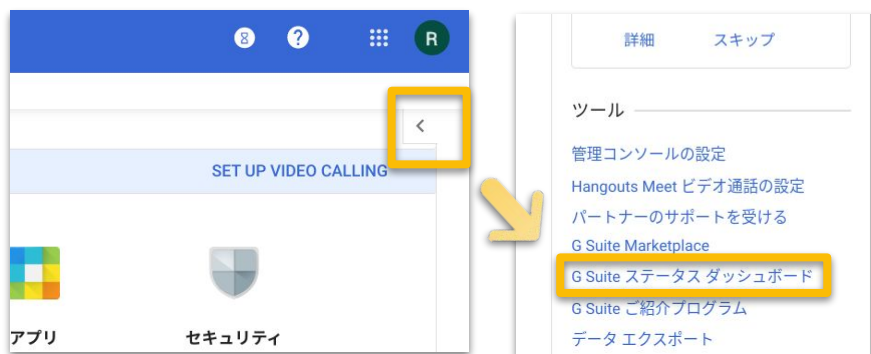
✓ CSVでの一括登録がうまくいきません。

よくあるエラー内容を確認し、再度アップロードを試すか、サポート窓口へお問い合わせください。

エラー項目	内容
ACTION FAILED: Validation	サポートされていない文字が入力値に含まれています。
ACTION FAILED: UNKNOWN ERROR	一時的なエラーが発生している可能性があります。CSV ファイルをもう一度アップロードしてみるか、ファイルを小さいサイズに分割してアップロードしてみてください。このエラーは、[Email Address] 列に入力したユーザーのメールアドレスのドメイン名 (@ 記号の後) が誤っている場合にも発生します。
ACTION FAILED: OU INVALID	[Org Unit Path] 列の形式が正しくありません。Org Unit Path をご覧ください。入力した組織部門が管理コンソールに存在しません。組織部門名が管理コンソールの組織階層内のものと一致することを確認します。
ACTION FAILED: USER NAME INVALID	[Email Address] 列のメールアドレス (ユーザー名) の形式が正しくありません。ユーザーの完全なメールアドレスを入力してください。

✓ アプリに不具合が生じているようです。

障害が発生している可能性があります。管理コンソールダッシュボード画面右側の「G Suite ステータスダッシュボード」より、状況をご確認ください。特に障害が発生していない場合は、一度サポート窓口(後述)にお問い合わせください。



✓ パスワードを忘れた生徒がいます。

以下の手順でパスワードの再設定を実施してください。パスワードの再設定が可能な管理者は学校ごとに任命することを推奨します。

1. ダッシュボード画面の「ユーザー」をクリック
2. 再設定をしたいユーザーにカーソルを合わせ、「パスワードを再設定」をクリック
3. パスワードを再設定し、「リセット」をクリック





✓ サポート窓口はありますか。

管理コンソールのサポートからの問い合わせが可能です。
以下のいずれかの方法にてお問い合わせください。
(管理コンソール>「サポート」からアクセス)

- **電話**
24 時間、日本語対応です。管理コンソールから取得できる電話サポート用の PIN 番号が必要です。
- **チャット(推奨)**
月 - 金の午前 9 時から午後 6 時まで日本語対応可能です。
(英語は 24 時間対応)
- **メール**
管理コンソールからフォームを入力すると、Google Cloud サポートセンターにケースが登録されます。以降メールでサポートメンバーとやりとりいただきます。

✓ G Suite for Education 登録後にドメイン変更は可能ですか。

G Suite for Education では登録後のドメイン変更はできません。





参考

ユーザーとブラウザの 設定項目一覧

ユーザーとブラウザの設定項目一覧

カテゴリ	設定項目名	設定内容
全般	ユーザーセッションの最大の長さ	指定した時間が経過すると自動的にログアウトされます。1分～1440分(24時間)までの値が入力できます。
	カスタムアバター	ログイン時のアイコンのアバターをカスタムのアバターに変更できます。JPG形式で512KB以下の画像である必要があります。
	カスタムの壁紙	デスクトップの壁紙をカスタムの壁紙に変更できます。JPG形式で16MB以下の画像である必要があります。
	Smart Lock for Chrome	Android搭載のスマートフォンと連携して、Chromebookのロックの解除ができます。利用には、Android 5.0以上のデバイスと、Chrome OSのバージョンが40以上である必要があります。
ログイン設定	ブラウザのログイン設定	ユーザーがChromeブラウザにログインして、ブラウザ情報をGoogleアカウントに同期し、ブックマーク、履歴、パスワード、その他の設定情報を連携できるかどうかを指定します。
	ログインをパターンに制限する	Active directoryを利用している場合、Windows OS上にグループポリシーを適用し一括してログインできます。
モバイル	Chrome Mobile (ベータ版)	サポートされているユーザー設定を、ユーザーのデバイス全体でポリシーと設定が同期されます。いずれのデバイスでも、管理対象アカウントでユーザーがChromeブラウザにログインすると設定が適用されます。
登録の管理	デバイスの登録	Chromebookを、最上位の組織部門もしくは端末を使用するユーザーの組織部門に配置させることができます。
	登録時のアセットID	各端末のユーザー、シリアル番号、登録日などの情報をユーザーに指定することを許可させるかを選択できます。
	登録の権限	ユーザーに端末の登録やプロビジョニング解除後の再登録を許可するかを指定します。
アプリの拡張機能	アプリと拡張機能	以下を一元管理することができます。 - アプリの許可、ブロック/アプリの自動インストール - タスクバーへのアプリの固定/おすすめアプリと拡張機能
	アプリの設定	アプリと拡張機能のその他の設定を行うことができます。
	タスクマネージャ	Chromeタスクマネージャでのプロセスの終了をユーザーに許可させるかを指定します。

ユーザーとブラウザの設定項目一覧

カテゴリ	設定項目名	設定内容
サイト分離	サイト分離	Chromebook で管理対象の Chrome ブラウザを使用しているユーザーに対してサイト分離を有効にすると、指定したウェブサイトと発行元を分離され、各サイトが専用のレンダリングプロセスで実行されます。これにより、データの盗用を防ぐためのセキュリティ対策が悪意のあるサイトによってバイパスされるのを一層強靱に防ぐことができます。
	サイト分離 (Android の Chrome)	Android デバイスで管理対象の Chrome ブラウザを使用しているユーザーに対してサイト分離を有効にすると、指定したウェブサイトと発行元を分離できます。
セキュリティ	パスワードマネージャー	パスワードを Chrome ブラウザに保存して、次回サイトにログインするときにそのパスワードを自動入力できるかを指定します。
	ロック画面	ロック画面を無効にすると、通常であればロック画面が有効になる状況でユーザーがログアウトされます。
	ロックのクイック解除	ユーザーが PIN や指紋などのロックのクイック解除モードを使用して端末のロック画面を解除できるかを指定します。
	アイドル設定	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドル時間: スリープもしくはログアウトまでの時間 ・アイドル時の操作: スリープ/ロック画面/ログアウト ・カバーを閉じた際の操作: スリープ/ログアウト ・スリープ時のロック画面: スリープ時のロックの許可
	シークレットモード	ユーザーがシークレットモードでブラウジングできるかどうかを指定します。
	ブラウザの履歴	ブラウザにユーザーの閲覧履歴を保存するかどうかを指定します。
	ブラウザの履歴の削除	ユーザーが閲覧履歴やダウンロード履歴などの閲覧データを削除できるかどうかを指定します。
	一時的ログインモードを適用	ユーザーが一時的ログインモードでブラウジングするかどうかを指定します。これにより、同僚が個人の PC や信頼できる共有端末で作業した場合に、使用した端末に閲覧情報が残る可能性を低減できます。
	オンライン失効チェック	Chromebook で HTTPS 証明書のオンライン失効チェックが実行されます。

ユーザーとブラウザの設定項目一覧

カテゴリ	設定項目名	設定内容
セキュリティ	位置情報	ユーザーの物理的な現在地の追跡をウェブサイトに許可するかどうかを設定します。Chrome ブラウザの場合、物理的な現在地の追跡をデフォルトで許可または禁止するか、ウェブサイトから物理的な現在地が要求されるたびにユーザーに毎回確認するように指定できます。
	シングルサインオン (SSO) によるオンラインログインの頻度	SAML ベースの SSO アカウントに対してオンラインログインフローを適用する頻度を設定します。設定した期間が経過するとユーザーはログアウトされ、その都度 SAML ベースの SSO アカウントのオンラインログインフローに沿った操作を行う必要があります。
	シングルサインオン (SSO)	Chromebook に対して SAML ベースの SSO を有効または無効にできます。
	TLS の RC4 暗号スイート	従来のサーバーでの必要に応じて、TLS で RC4 暗号スイートを一時的に有効または無効にできます。 ※ RC4 は安全ではないため、AES 暗号化をサポートするようにサーバーを再設定することをおすすめ
	ローカルトラストアンカーの証明書	<ul style="list-style-type: none"> ローカルアンカー SHA-1 署名証明書の許可の指定 ローカルアンカーの一般名を使用したフォールバック Symantec 社の Legacy PKI インフラストラクチャ
	URL のホワイトリストに対する証明書の透明性の設定	証明書の透明性の要件が証明書に適用されない URL を指定します。
	CA のホワイトリストに対する証明書の透明性の設定	証明書チェーン内の証明書に、指定された subjectPublicKeyInfo ハッシュが使用されている場合、証明書の透明性の要件は証明書に適用されません。
	従来の CA のホワイトリストに対する証明書の透明性の設定	証明書チェーンに含まれる証明書が以前の認証局 (CA) によって発行されたもので、指定された subjectPublicKeyInfo ハッシュがこの証明書に使用されている場合、証明書の透明性の要件は証明書に適用されません。
	CPU タスクスケジューラ	パフォーマンスを高めるために、Intel® Hyper-Threading Technology® を最適化するかどうかを指定します。
	レンダラコードの整合性チェックの有効	有効にすることで、Chrome ブラウザのレンダラプロセス内に悪質な疑いのある不明なコードの読み込みを防ぎます。
	入力された認証情報に対して漏洩の検出の有効	有効にすることで、入力された認証情報に対して漏洩の検出をすることができます。
	アンビエント認証	Chrome 80 以降でサポートされる機能

ユーザーとブラウザの設定項目一覧

カテゴリ	設定項目名	設定内容
リモートアクセス	リモートアクセスクライアント	リモートアクセスクライアントに必要なドメイン名を設定し、ユーザーが設定を変更できないようにします。ホストデバイスに接続できるのは、指定したドメインのクライアントのみになります。
	リモートアクセスホストのカーテン	有効にすると、リモートアクセス中は物理入出力デバイスが無効になります。
	リモートサポート向け管理者UIアクセス	ローカルユーザーのパソコンで管理者ウィンドウを使った操作をリモートユーザーに許可するかを指定します。
セッションの設定	トレイにログアウトボタンを表示する	シェルフにログアウトボタンを明示的に表示する場合に選択します。
ネットワーク	プロキシモード	Chrome OS をインターネットに接続する方法を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・プロキシを使用しない ・常にプロキシを自動検出する ・常に下記に指定したプロキシを使用する ・常に下記に指定したプロキシの自動設定を使用する
	サポートされる認証スキーム	サポートされているHTTP 認証スキームを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ベーシック/ダイジェスト NTLM / ネゴシエーション- 最も安全なオプション
	SSLレコード分割 ※ Chromebookのみ	有効にすると、Chrome で SSL レコード分割が可能になります。
	データ圧縮プロキシ	Google がホストするプロキシサーバーを使ってウェブサイトのコンテンツを最適化することで、モバイルデバイスでのデータ使用量を減らし、モバイルウェブのブラウジング速度を上げることができます。
	WebRTC UDP ポート	ユーザーからのWebRTC 接続に使用するUDP ポートの範囲を指定できます。ポートの範囲は1024～65535 です。
	QUIC プロトコル	Chrome での QUIC (Quick UDP Internet Connections) プロトコルの使用を許可できます。
	DNS-over-HTTPS	DNS-over-HTTPSを有効にするかを指定できます。
	CORS の以前のモード	従来の CORS を実装するかを指定します。このオプションは Chrome バージョン 81 までに削除されます。
	CORS の緩和	CORSを使用すると、異なる生成元からの予期しないネットワークアクセスから組織を保護しながら、他のドメインのリソースにアクセスできます。有効にすることでChrome 拡張機能に対してCORS の緩和が可能になります。

ユーザーとブラウザの設定項目一覧

カテゴリ	設定項目名	設定内容
Android アプリ		<ul style="list-style-type: none"> •Chromebook上の Android アプリの設定 •ユーザーとデバイスに対するAndroid のレポート機能
	Android のバックアップと復元サービスを制御する	ユーザーがAndroid アプリのコンテンツ、データ、設定をGoogle アカウントにバックアップできるようにします。ユーザーは別のChromebook にログインしてAndroid アプリのデータを復元できません。
	Google 位置情報サービス	ユーザーの物理的な現在の地の追跡をAndroid アプリに許可するかどうかを設定します。
	アカウント管理	managed Google Play で明示的に許可されているAndroid アプリ以外も利用できるよう、予備のアカウント(個人用のGmail アカウントなど)を追加できます。*Chrome 75 以前
	証明書の同期	Chrome OS の認証局(CA)証明書はAndroid アプリに対して同期されるかを指定できます。
起動	ホームボタン	ツールバーにホームボタンを表示するかどうか指定します。
	ホームページ	ツールバーのホームボタンをクリックしたときに表示される内容を管理します。
	起動時に読み込むページ	ユーザーがChromebook を起動したときに読み込む追加ページのURL をリストに指定できます。
コンテンツ	セーフサーチと制限付きモード	<ul style="list-style-type: none"> •Google セーフサーチ ユーザーの検索結果から不適切なコンテンツを除外するセーフサーチ機能を有効または無効にできます。 •YouTube の制限付きモード YouTube の制限付きモードを有効にするかを選択します。
	スクリーンショット	組織内のユーザーがChrome デバイスでスクリーンショットを撮影できるかどうかを管理します。
	クライアント証明書	Chrome がクライアント証明書を自動的に選択するサイトのURL パターンのリストをJSON 文字列で指定できます。
	セキュリティキーの認証	端末がセキュリティキーからの認証証明書をリクエストしたときに、確認メッセージを表示しないURL とドメインを指定します。
	3Dコンテンツ	ブラウザのウェブページでWebGL API とプラグインの使用を許可するかどうかを管理します。
	Cookie	サイト設定やプロフィール情報といったブラウジング情報の保存をウェブサイトに許可するかどうかを設定します。

ユーザーとブラウザの設定項目一覧

カテゴリ	設定項目名	設定内容
コンテンツ	サードパーティの Cookie のブロック	ユーザーによる決定を許可するか、サードパーティのCookieを許可するかを指定できます。
	従来の SameSite Cookie のデフォルトの動作	デベロッパーがSame Site 設定を使用して、サイト間のリクエストでブラウザがCookieを送信しないようにすることができます。
	一部のサイトの Cookie に従来の SameSite の動作を適用する	デベロッパーがSame Site 設定を使用して、サイト間のリクエストでブラウザがCookieを送信しないようにすることができます。
	画像	Webサイトでの画像の表示を許可するかどうかを設定します。
	JavaScript	WebサイトでのJavaScriptの実行を許可するかどうかを設定します。
	通知	Webサイトにデスクトップ通知の表示を許可するかどうかを設定します。
	プラグイン	Adobe Flash Player などのプラグインの実行をWeb サイトに許可するかどうかを設定します。
	有効 / 無効なプラグイン	※ プラグインで【すべてのプラグインをブロックする】を選択した場合、この設定は適用されません。 Chrome で常に有効にするプラグインリストを指定できます。
	プラグインファイnder	ユーザーのChromebookに必要なプラグインを自動的に検索してインストールしています。
	プラグインの承認	この設定を【承認が必要なプラグインを常に実行する】に変更すると、古いプラグインや無効なプラグインを除くすべてのプラグインが、最初にユーザーに許可を求めることなくChromeで実行されます。
	古いプラグイン	ユーザーに古いプラグインを実行するための権限を指定することができます。
	ポップアップ	Web サイトでポップアップ表示を許可するかどうかを設定します。
	URL のブロック	URL ブラックリストの指定をします。
Googleドライブの同期	ユーザーが各自のChromebookでGoogleドライブを同期できるかを管理者が設定します。ドライブの同期を有効無効にすることも、ユーザーが選択できるようにすることも可能です。	

ユーザーとブラウザの設定項目一覧

カテゴリ	設定項目名	設定内容
コンテンツ	携帯電話の接続を介したGoogleドライブの同期	ユーザーが各自のChromebookでスマートフォンの接続を介してGoogleドライブを同期できるかを設定できます。
	キャスト	Chromecast デバイスを使用しているユーザーに、Chrome タブのキャストを許可するかどうかを指定します。
	混合コンテンツの厳格な取り扱い	このポリシーを有効にすると、混合コンテンツはHTTPSに自動的にアップグレードされ、画像の混合コンテンツには【安全ではありません】という警告がURL バーに表示されます。
	安全でないコンテンツの例外の使用を管理する	ブロック可能な混合コンテンツの読み込みをユーザーが追加できるかどうかを指定する
	これらのサイトでは安全でないコンテンツの表示を許可する	安全でないコンテンツの表示を許可するサイトを指定します。
	これらのサイトでは安全でないコンテンツの表示をブロックする	安全でないコンテンツの表示をブロックするサイトを指定します。
	Chrome 84 以前の Web Components v0 API を最有効化する	Web Components v0 API を最有効化するかどうかを指定します。
ページ終了中の同期XHRリクエスト	ページ終了中の同期XHRリクエストをブロックするかどうかを指定します(このポリシーはChrome88で削除されます)	
印刷	印刷	印刷機能を有効または無効にすることができます。
	印刷プレビュー	印刷プレビューを使用するか、システムの印刷ダイアログを使用するかを選択できます。
	Google クラウドプリントへの送信	ユーザーがクラウドプリントサービスにログインして印刷することを許可またはブロックします。
	Google クラウドプリントプロキシ	この設定を有効にすると、ユーザーはパソコン(Windows, Mac, Linux)のChrome ブラウザをGoogle クラウドプリントとデバイスに接続されたプリンタの間のプロキシとして使用できます。
	デフォルトの印刷プレビュー	システムのデフォルトプリンタをChrome のデフォルトプリンタとして使用するか、ユーザーのデフォルトのプリンタを設定するかを指定できます。

ユーザーとブラウザの設定項目一覧

カテゴリ	設定項目名	設定内容
印刷	ローカルプリンタの管理	Chromebook へのローカルプリンタの追加をユーザーに許可するかブロックするかを切り替えることができます。
	デフォルトのカラー印刷モード	デフォルトでカラー印刷にするかモノクロ印刷にするかを指定できます。ユーザーは、個々の印刷ジョブでカラー印刷にするかモノクロ印刷にするかを選択できます。
	カラー印刷モードを制限	ユーザーにカラー印刷またはモノクロ印刷を強制します。
	デフォルトの印刷面	ユーザーが用紙の両面に印刷できるかどうかを指定します。
	印刷面を制限	組み込みの両面印刷機能があるプリンタで片面印刷モードまたは両面印刷モードをユーザーに強制します。
	背景グラフィック印刷のデフォルト設定	背景のグラフィックの印刷モードをデフォルトで有効にするか無効にするかを指定します。
	背景のグラフィックの印刷の制限	ユーザーに背景のグラフィックの印刷を強制または禁止できます。
	ネイティブの印刷ジョブの情報	ユーザーアカウントとファイル名を印刷ジョブに送信するかどうかを指定できます。
	印刷ジョブの履歴の保存期間	印刷ジョブの履歴をデバイスでローカルに保存する日数を指定します。
	PIN印刷モードを制限する	PIN印刷またはPINをしよしない印刷をユーザーに強制します。
デフォルトのPIN印刷モード	ユーザーがPIN を使用して印刷できるかどうかを指定します。	
ユーザーエクスペリエンス	管理対象のブックマーク	モバイルデバイスなど、あらゆるプラットフォームのChrome にブックマークのリストを送信し、ユーザーの利便性を高めることができます。
	ブックマークバー	ユーザーにブックマークを表示するかどうかを指定します。
	シェルフの位置	ユーザーのChrome デバイスでのアプリの行(シェルフ)の位置を指定します。
	ブックマークの編集	ユーザーが各自のChrome ブックマークバーのアイテムを追加、編集、削除できるようにします。
	ダウンロード先	Chromeデバイスでのデフォルトのダウンロード先を設定し、その場所をユーザーが変更できるかどうかを指定します。

ユーザーとブラウザの設定項目一覧

カテゴリ	設定項目名	設定内容
ユーザーエクスペリエンス	スペルチェックサービス	Chrome でスペルチェックを有効または無効に設定することも、ユーザーが選択できるように設定することもできます。
	Google 翻訳	Chrome でGoogle 翻訳を使用するかどうかを設定できます。
	代替エラーページ	Chrome ブラウザがWeb アドレスに接続できない場合に、代わりの方法を記載したページを表示するかどうかを指定します。
	デベロッパーツール	【ツール】メニューに【デベロッパーツール】オプションを表示するかどうかを指定します。
	フォームの自動入力	自動入力機能を使用してユーザーがオンラインフォームを簡単に入力できるようにするかどうかを指定します。
	DNSプリフェッチ	有効にすることで、表示されたウェブページのすべてのリンクについてIPアドレスの照会が行われるため、ユーザーがリンクをクリックした際の読み込み速度が速くなります。
	ネットワーク予測	Chrome でネットワークの動作を予測できるようにするかどうかを指定します。
	マルチログインアクセス	ユーザーがマルチログインアクセスをできるかどうかを指定します。
	予備のアカウントにログインする	ユーザーがデバイスにログインした後、ブラウザウィンドウとGoogle Play でのアカウントの切り替えをユーザーに許可します。
	デスクトップ画面統合 (ベータ版)	ユーザーが複数のモニタやテレビで同じウィンドウを表示できるようにするかどうかを指定します。
	WebRTCイベントログの収集	ユーザーがウェブアプリケーションでWebRTC イベントログを生成、収集できるかどうかを指定します。
ユーザー補助	恐竜ゲーム	ユーザーが恐竜ゲームをプレイできるかどうかを指定します。
	以前インストールしたアプリのおすすめ	ユーザーが他のデバイスに以前にインストールしたアプリをおすすめとしてランチャーに表示するかどうかを指定します
	音声フィードバック	音声フィードバックの有効/ 無効を指定します。
	選択して読み上げ	選択して読み上げ機能の有効/ 無効を指定します。
	高コントラスト	高コントラストの有効/ 無効を指定します。
	拡大鏡	拡大鏡の有効/ 無効を指定します。

ユーザーとブラウザの設定項目一覧

カテゴリ	設定項目名	設定内容
ユーザー補助	固定キー	固定キーの有効/無効を指定します。
	仮想キーボード	仮想キーボードの有効/無効を指定します。
	音声入力	音声入力の有効/無効を指定します。
	キーボードフォーカスによるハイライト表示	キーボードフォーカスによるハイライト表示の有効/無効を指定します。
	キャレットのハイライト表示	キャレットのハイライト表示の有効/無効を指定します。
	自動クリック有効化	自動クリックの有効/無効を指定します。
	大きいカーソル	大きいカーソルの有効/無効を指定します。
	カーソルのハイライト表示	カーソルのハイライト表示の有効/無効を指定します。
	メインのマウスボタン	メインのマウスボタンの有効/無効を指定します。
	モノラル音声	モノラル音声の有効/無効を指定します。
	ユーザー補助機能のショートカット	ユーザーの補助機能のショートカットの有効/無効を指定します。
	システムトレイメニューの補助機能オプション	システムトレイメニューの補助機能オプションの有効/無効を指定します。
アドレスバーの検索プロバイダ	検索候補	ユーザーのウェブアドレスや検索キーワードの入力に役立つ予測サービスを有効または無効にできます。
	アドレスバーの検索プロバイダ	デフォルトの検索プロバイダの名前を指定します。
ハードウェア	外部ストレージデバイス	組織内のユーザーがChromebookを使用して、USBフラッシュドライブ、外部ハードドライブ、光学式ストレージ、セキュアデジタル(SD)カード、その他のメモリーカードなどの外部ドライブをマウントできるかどうかを制御します。書き込みば不可、読み取り専用を選択することもできます。
	オーディオ入力(マイク)	Chromebookの内蔵マイクのオーディオ入力にウェブサイトからアクセスするための設定を組織内のユーザーに許可するかどうかを制御します。

ユーザーとブラウザの設定項目一覧

カテゴリ	設定項目名	設定内容
ハードウェア	オーディオ入力が許可されたURL	オーディオ入力デバイスへのアクセスが許可されるURLを指定します。
	音声出力	組織内のユーザーがChromebookで音を再生できるかどうかを制御します。
	ビデオ入力(カメラ)	ウェブサイトがChromebookの内蔵ウェブカメラにアクセスできるかどうかを指定します。
	ビデオ入力(カメラ)が許可されたURL	ビデオ入力デバイスへのアクセスが許可されるURLを指定します。
	キーボード	キーボードの一番上の列のキーの動作を指定します。
ユーザーの確認	確認済みモード	認証済みアクセスで検証ブートを求めるかどうかを指定できます。
管理対象ブラウザ	クラウドレポート	この設定を有効にすることで、Chrome ブラウザクラウド管理を使用する管理者は、組織で使用されているChrome ブラウザと拡張機能の詳細情報を管理コンソールで確認できます。
Chrome の セーフブラウジング	セーフブラウジング	ユーザーに対してGoogle セーフブラウジングを有効にするかどうかを指定します。
	セーフブラウジングの改善に協力する	危険なアプリやサイトを検出するために、拡張レポートを有効にしてシステム情報やページのコンテンツをGoogle に送信するかどうかを指定します。
	セーフブラウジングのホワイトリスト登録済みドメイン	セーフブラウジングで信頼するURLを指定します。
	ダウンロードの制限	ユーザーが不正なソフトウェアや感染ファイルなどの危険なファイルをダウンロードできないようにします。
	セーフブラウジングの警告の無視を無効にする	ユーザーがセーフブラウジングの警告を無視し、偽のサイトや危険なサイトにアクセスしたり、有害なファイルをダウンロードしたりできるかどうかを指定します。
	パスワードアラート	危険なウェブサイトや組織のホワイトリストに登録されていないウェブサイトで、ユーザーのパスワードの再利用を禁止するかどうかを指定します。

ユーザーとブラウザの設定項目一覧

カテゴリ	設定項目名	設定内容
従来のブラウザのサポート	従来のブラウザのサポート	ユーザーがMicrosoft Internet Explorer などの別のブラウザでURLを開くことができるかどうかを指定します。
	代替ブラウザ起動までの待機時間	代替ブラウザを開くまでの待機時間(秒)を指定します。
	Internet Explorer のサイトリストを使用する	Internet Explorer のサイトリストを使用して、Chrome ブラウザまたはInternet Explorer でURLを開くことを制御することを許可します。
	従来のブラウザのサポートのサイトリスト	代替ブラウザで開くウェブサイトのURLリストが記載されたXML ファイルのURLを指定します。
	どちらのブラウザでの開くウェブサイトURLのリスト	ブラウザの切り替えを行わないウェブサイトのURLのリストが記載されたXML ファイルのURLを指定します。
	代替ブラウザで開くウェブサイト	代替ブラウザで開くウェブサイトのURLのリストを指定します。
	どちらのブラウザでの開くウェブサイト	ブラウザの切り替えを行わないウェブサイトのURLのリストを指定します。
	代替ブラウザのパラメータ	代替ブラウザの実行可能ファイルに渡すパラメータを指定できます。
	代替ブラウザのパス	代替ブラウザとして使用するプログラムを指定できます。
	Chrome のパラメータ	※Windows のみ 代替ブラウザからの復帰時に、Chrome ブラウザの実行可能ファイルに渡すパラメータを指定します。
Chrome のパス	※Windows のみ 代替ブラウザからの復帰時に起動するChrome ブラウザ	
Chrome の最後のタブは開いたままにする	ウィンドウ内の最後のタブが代替ブラウザに切り替わった後にChrome ブラウザを閉じるかどうかを指定します。	



参考

端末の設定項目一覧

端末の設定項目一覧

カテゴリ	設定項目名	設定内容
登録とアクセス	強制的に再登録	ワイプ後にユーザー認証情報を使用してデバイスをドメインに自動再登録するかどうかを指定します。
	確認済みアクセス	この設定を有効にすると、クライアントが実行するchrome OS に変更がなく、OSがポリシーに準拠していることを示す証拠をウェブサービスがリクエストできるようになります。
	確認済みモード	認証済みアクセスで検証ブートを求めるかどうかを指定します。
	無効になっているデバイスの返却手順	紛失または盗難により無効になっている端末の画面に表示するカスタムテキストを指定します。
	統合型のFIDO 二要素認証	ユーザーがTitan M セキュリティチップ搭載デバイスで要素認証を使用できるかどうかを指定します。
ログイン設定	ゲストモード	管理対象のChrome デバイスでゲストブラウジングを許可するかどうかを指定します。
	ログインの制限	Chromebook にログイン可能なユーザーを管理できます。
	ドメインのオートコンプリート	ユーザーのログインページに表示するドメイン名を選択できます。ユーザーがログインするときにユーザーのドメイン部分の入力をする必要がなくなります。
	ログイン画面	Chrome デバイスのログイン画面に、これまでにそのデバイスにログインしたことのあるユーザーの名前と写真を表示するかどうかを指定します。
	デバイスの管理外時間	Chrome OS を搭載している管理対象デバイスにゲストブラウジングとログインの制限設定が適用されていない場合、週ベースのスケジュールを設定できます。
	デバイスの壁紙画像	ログイン画面のデフォルトの壁紙を独自の壁紙に変更できます。JPG形式の画像で16MBまでアップロードできます。
	ユーザーデータ	登録済みのChromebook デバイスからユーザーがログアウトするたびに、ローカルに保存されている設定とユーザーデータをすべて削除するかどうかを指定します。
	シングルサインオン (SSO) IDプロバイダのリダイレクト	※端末がSAML SSOが設定されている必要があります。シングルサインオンユーザーが最初にメールアドレスを入力しなくてもSAML ID プロバイダのページを直接表示できるようにするには、この設定を有効にします。

端末の設定項目一覧

カテゴリ	設定項目名	設定内容
ログイン設定	シングルサインオン Cookie の動作	※端末がSAML SSOが設定されている必要があります。SSOのユーザーが、今後Chromebook にログインするときに、同じIDプロバイダを利用する内部ウェブサイトやクラウドサービスにログインできるようにするには、SAML SSO Cookie を有効にします。
	シングルサインオンによるカメラのアクセスの許可	※端末がSAML SSOが設定されている必要があります。このポリシーを有効にすると、ユーザーの代わりにユーザーのカメラへのアクセスをサードパーティーに許可することになります。
	シングルサインオンのクライアント証明書	※端末がSAML SSOが設定されている必要があります。シングルサインオン(SSO)サイトのクライアント証明書を管理できます。
	アクセシビリティコントロール	ログイン画面のユーザー補助設定を管理できます。ユーザー補助設定には、大きいカーソル、音声フィードバック、高コントラストモードなどがあります。
	ログイン言語	Chromebook のログイン画面に表示される言語を指定します。ユーザーに言語の選択を許可することもできます。
	ログイン画面のキーボード	Chromebook のログイン画面で使用できるキーボードレイアウトを指定します。
	ログイン画面のシステム情報	ユーザーがログイン画面にシステム情報を表示できるかを指定します。

／ 端末の設定項目一覧

カテゴリ	設定項目名	設定内容
ユーザー補助	固定キー	固定キーの有効/無効を指定します。
	仮想キーボード	仮想キーボードの有効/無効を指定します。
	音声入力	音声入力の有効/無効を指定します。
	キーボードフォーカスによるハイライト表示	キーボードフォーカスによるハイライト表示の有効/無効を指定します。
	キャレットのハイライト表示	キャレットのハイライト表示の有効/無効を指定します。
	自動クリック有効化	自動クリックの有効/無効を指定します。
	大きいカーソル	大きいカーソルの有効/無効を指定します。
	カーソルのハイライト表示	カーソルのハイライト表示の有効/無効を指定します。
	メインのマウスボタン	メインのマウスボタンの有効/無効を指定します。
	モノラル音声	モノラル音声の有効/無効を指定します。
	ユーザー補助機能のショートカット	ユーザーの補助機能のショートカットの有効/無効を指定します。
デバイスの更新設定	自動更新の設定	新バージョンのChrome OS がリリースされた際にChromebookを自動更新するかどうかを指定します。
	アプリで更新を管理	特定のアプリに対して、デバイスのChrome OS バージョンの管理を許可することができます。
	キオスクで更新を管理	特定のキオスクアプリに対して、デバイスのChrome OS のバージョン管理を許可することで、デバイスのChrome OS がアプリで指定されたバージョンより新しいバージョンに更新されるのを防止できます。
	リリースチャンネル	リリースチャンネルを切り替えることで、ユーザーがChrome の最新機能をテストできるようにします。
	バリエーション	Chrome のバリエーションを有効にするかを指定します。

／ 端末の設定項目一覧

カテゴリ	設定項目名	設定内容
キオスクの設定	管理対象ゲストセッション	Chromebook を管理対象ゲストセッションとして設定することができます。
	キオスクのデバイスステータスのアラート配信	Chrome キオスクデバイスの電源がオフになっているときにアラートを受け取るかどうかを指定できます。
	キオスクのデバイスステータスのアラート送信先	Chrome キオスクデバイスに関するステータスの最新情報を取得します。
ユーザーとデバイスをレポート	デバイスに関するレポート	ドメインの登録済みChromebook から、ファームウェア、Chrome とプラットフォームのバージョン、起動モードといった現在のデバイスの状況を報告するかどうかを指定します。
	利用していないデバイスに関する通知	ドメインで利用されていない端末に関するレポートがメールで届きます。
	匿名で統計情報をレポート	システムやブラウザのプロセスでエラーが発生したときに Chromebook からGoogle に使用統計情報や障害レポートを送信するかどうかを指定します。
設定を表示	画面の設定	外部 / 内部ディスプレイの設定について、変更をユーザーに許可するかどうかを指定します。
電源とシャットダウン	電源管理	Chromebook にログイン画面が表示されている状態のとき、指定時間の経過後にスリープ状態にするか、シャットダウンするか、またはログイン画面を表示したままにするかを指定します。
	スケジュールされた再起動	デバイスを再起動するまでの日数を指定できます。 ※ログイン画面が表示されているキオスクデバイスのみ。
	シャットダウンを許可する	ユーザーがシャットダウンアイコンまたは物理的な電源ボタンを使用してデバイスの電源をオフにできるようにするかどうかを指定します。

／ 端末の設定項目一覧

カテゴリ	設定項目名	設定内容
その他の設定	デバイスのネットワークホスト名テンプレート	DHCP リクエストとともにDHCP サーバーに渡すホスト名を指定できます。
	タイムゾーン	ユーザーの端末に設定するタイムゾーンを指定します。
	モバイルデータローミング	Chromebook のユーザーが別の携帯通信会社が管理するモバイルネットワークを使用して接続できるようにするかどうかを指定します。
	着脱可能なUSBのホワイトリスト	Citrix Receiver などのアプリケーションから直接アクセスできるUSBデバイスのリストを指定できます。
	Bluetooth	デバイスでBluetooth を有効または無効にできます。
	デバイスの帯域幅の調整	デバイスレベルでの帯域幅の使用量を管理します。
	TPM ファームウェアの更新	端末へのTPM ファームウェアの更新インストールをユーザーに許可するかを指定できます。
	仮想マシン	Chromebook 上で仮想マシンを実行することをユーザーに許可するかどうかを指定します。
	ログイン画面へのImprivata の統合	ログイン画面でImprivata 拡張機能を使用するかどうかを指定します。